2018年度
第2四半期 決算説明会

第95期:第2四半期累計期間（2018年4月1日～2018年9月30日）

2018年11月14日

1．会社概要

2．2018年度第2四半期業績

3．2018年度通期予想

4．Schraderバルブ事業の状況

5．中期経営計画（2018年度～2020年度）

本資料取り扱い上の注意点

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想と大幅に異なる可能性があります。

PACIFIC 太平洋工業株式会社

1．会社概要

2．2018年度第2四半期業績

3．2018年度通期予想

4．Schraderバルブ事業の状況

5．中期経営計画（2018年度～2020年度）

1-1　当社の主な事業

プレス・樹脂製品事業

プレス製品

■ハイブリッドバッテリーケース

■センターピラー

■ラゲージヒンジ

■オイルパン

■フロントサイドメンバー

■キャリアプレート

樹脂製品

■センターオーナメント

■ホイールキャップ

■アクセルペダル

■エンジンカバー

バルブ製品事業

バルブ製品

■バルブコア

■チューブレスバルブ

■リリーフバルブ

■チャージバルブ

TPMS製品

■送信機

1-2 グループ会社の概要

★は新規連結会社

国内８工場、連結子会社１８社、海外８ヵ国で事業展開

JCR格付 A-(安定的)

プレス・樹脂製品事業

個別

- 中部：西大垣工場、東大垣工場、養老工場
- 九州：九州工場
- 東北：栗原工場、若柳工場

連結

- 台湾：太平洋汽門工業股份有限公司
- タイ：Pacific Industries (Thailand) Co., Ltd
- ★Pacific Auto Parts (Thailand) Co., Ltd
- 米国：Pacific Manufacturing Ohio, Inc.
- Pacific Manufacturing Tennessee, Inc.
- 中国：天津太平洋汽車部件有限公司
- 長沙太平洋半谷汽車部件有限公司

バルブ製品事業

個別

- 北大垣工場
- 美濃工場

連結

- ★Schrader-Bridgeport International,Inc.
- 太平洋汽車部件科技（常熟）有限公司
- 韓国：太平洋バルブ工業株式会社
- 太平洋エアコントロール工業株式会社
- ベルギー：★Pacific Industries Europe NV/SA
- フランス：Schrader SAS
- イギリス：★UK Service Office（支店）

その他

国内連結子会社

- ピーアイシステム㈱
- 太平洋産業㈱

持株会社等

- Pacific Industries USA Inc.
- 太平洋工業（中国）投資有限公司
- ★August France Holding Company SAS

日本（持分法適用会社）

- PECホールディングス株式会社

1-3 コーポレート・ガバナンス

会社の体制および方針ならびに運用状況

■内部統制システムの基本方針

・業務の適正を確保するための体制構築(取締役会で決議)

■運用状況の概要

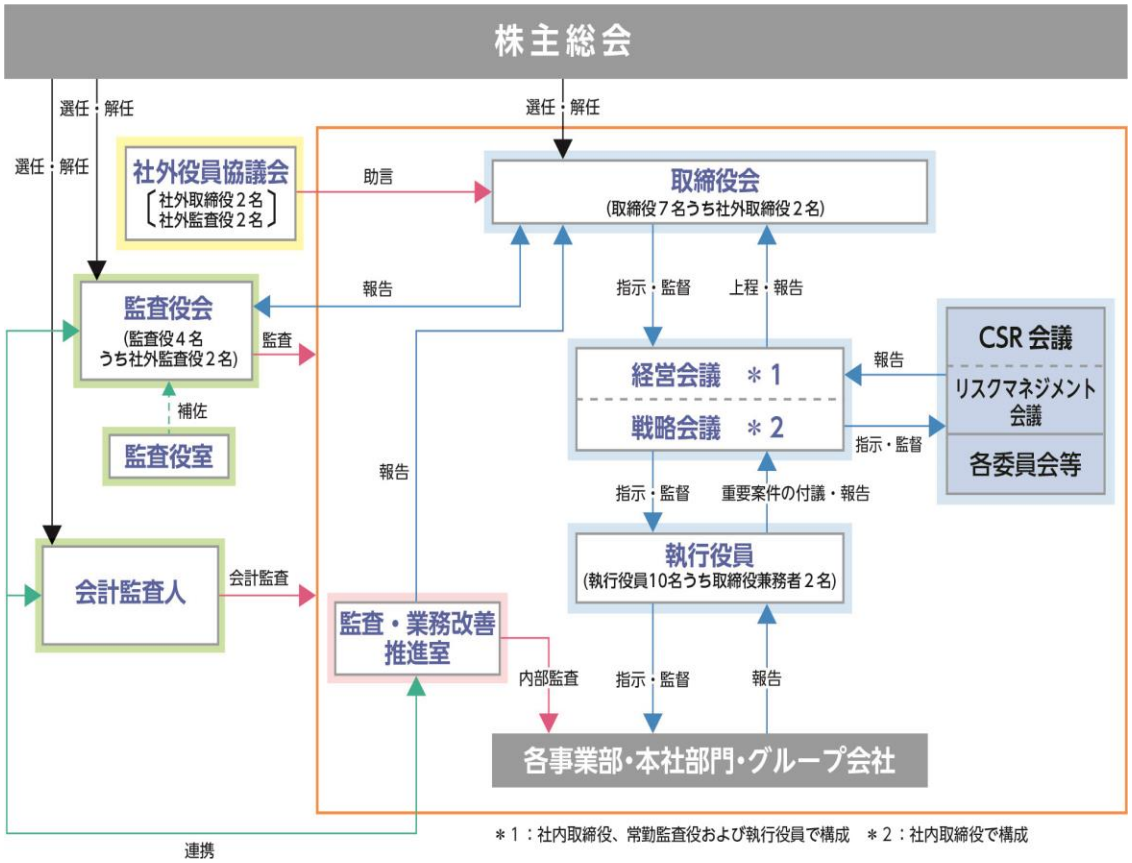
(1)コンプライアンス体制

(2)リスク管理体制

(3)グループ会社の経営管理

(4)実効的な監査役監査

＜コーポレート・ガバナンス体制図＞



1．会社概要

2．2018年度第2四半期業績

3．2018年度通期予想

4．Schraderバルブ事業の状況

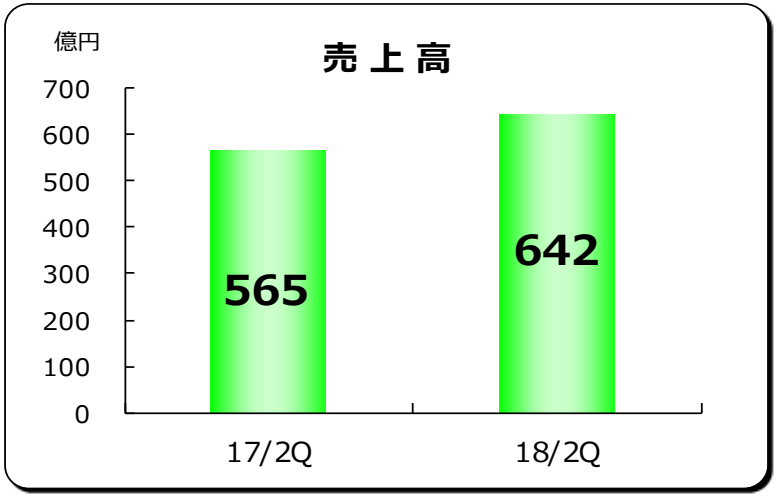
5．中期経営計画（2018年度～2020年度）

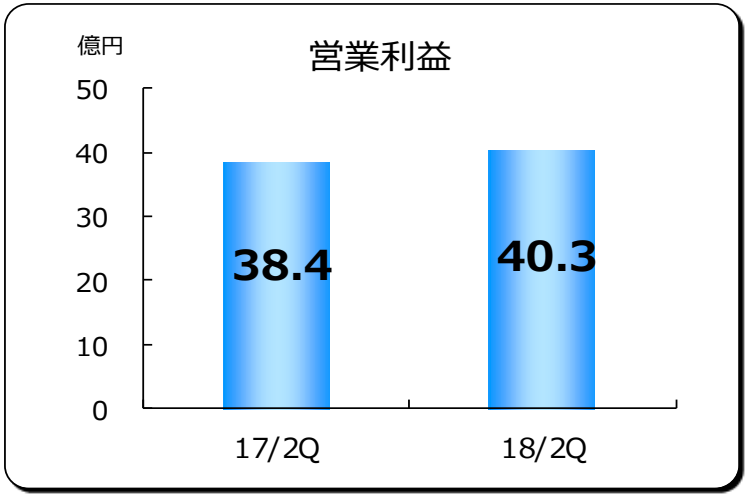
2-1 第２Ｑ 連結業績

売上高・経常利益・四半期純利益が過去最高

（百万円、%）

	前第２四半期	第２四半期				前年同期比		第２四半期累計
		4/26 前回予想	実績	前回予想比				
				増減	増減率	増減	増減率	
売上高	56,528	61,000	64,285	3,285	＋5.4	7,757	＋13.7	２期連続の増収 過去最高
営業利益	3,846 6.8%	4,000 6.6%	4,039 6.3%	39	＋1.0	192	＋5.0	2期振りの増益
経常利益	4,744 8.4%	4,500 7.4%	5,169 8.0%	669	＋14.9	424	＋8.9	２期連続の増益 過去最高
四半期純利益	3,405 6.0%	3,400 5.6%	3,898 6.1%	498	＋14.6	493	＋14.5	２期連続の増益 過去最高

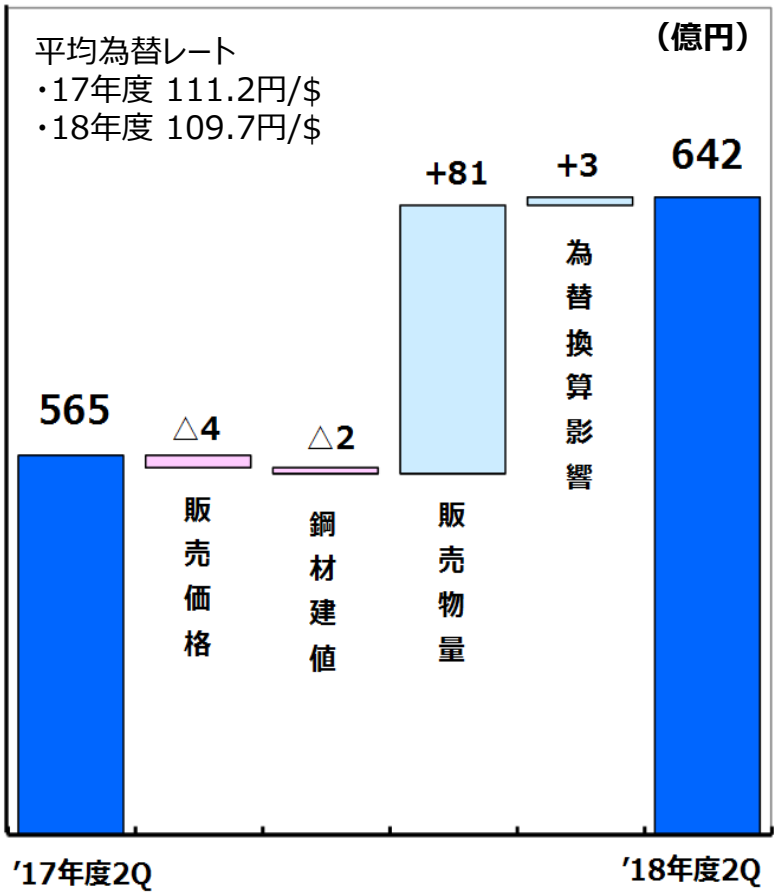




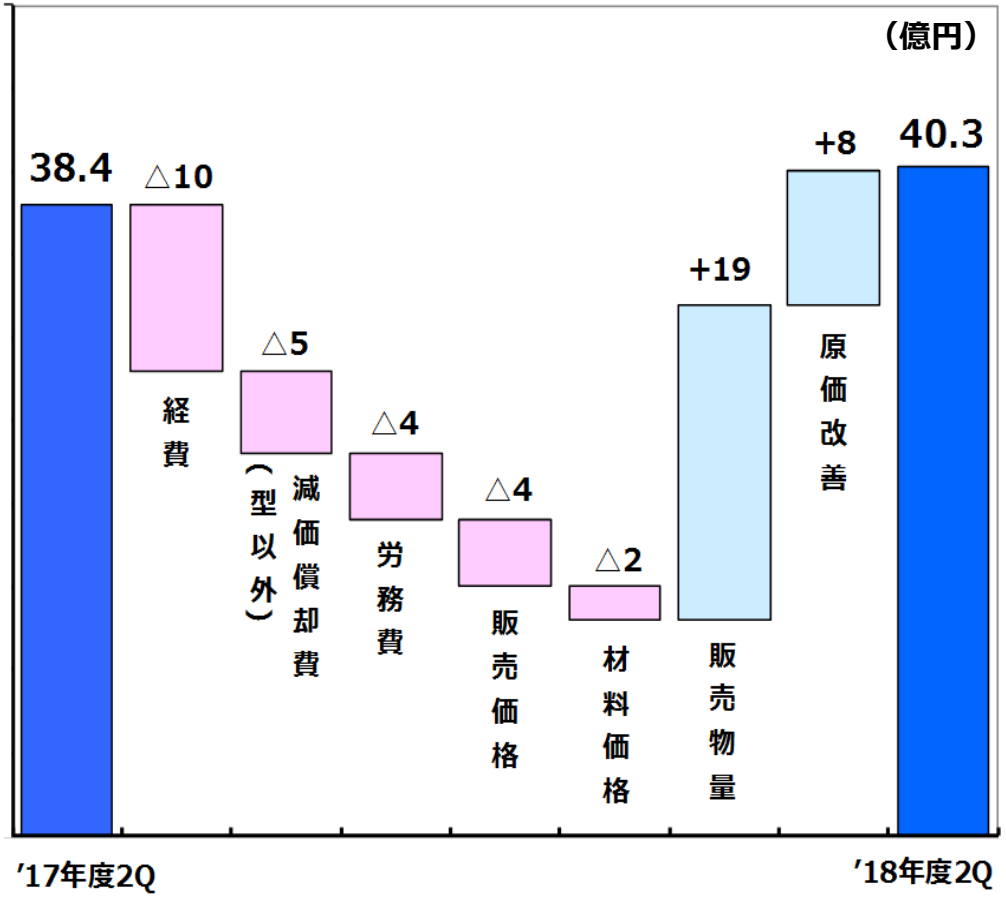
2-2 第２Ｑ 連結営業利益増減要因

売上高・営業利益共に増収・増益

«18年度2Q 対 17年度2Q»
売上高+78億円

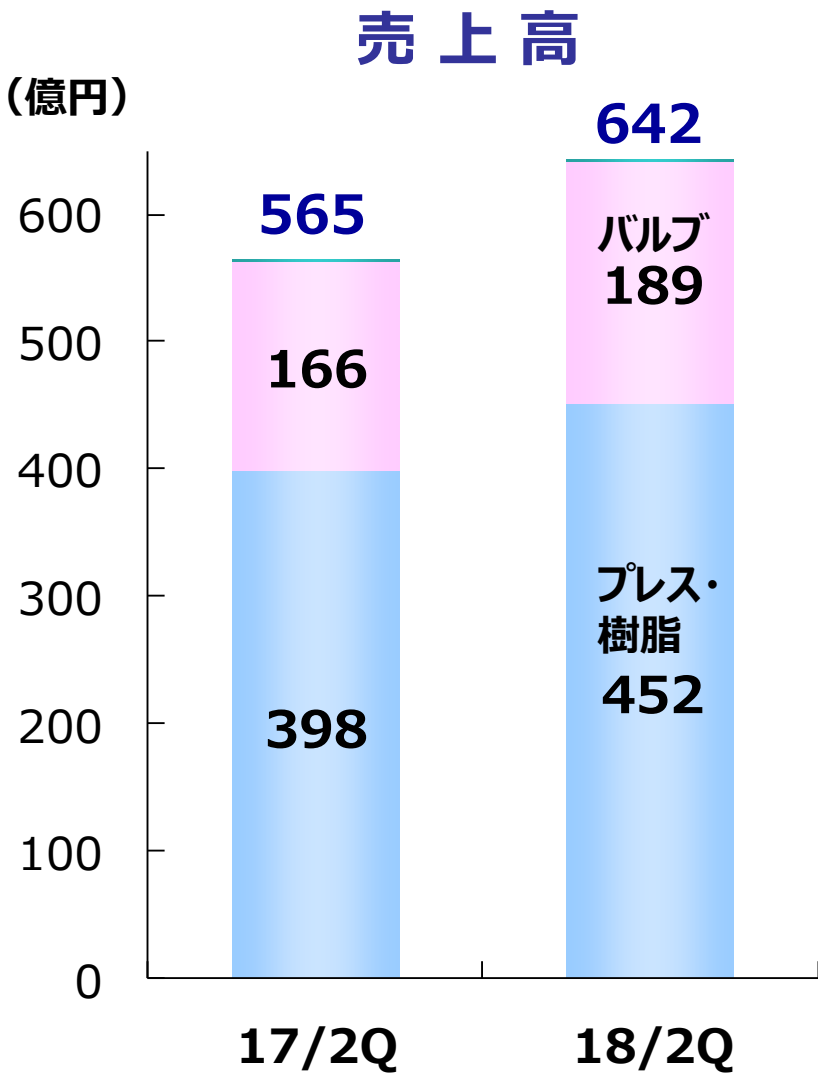


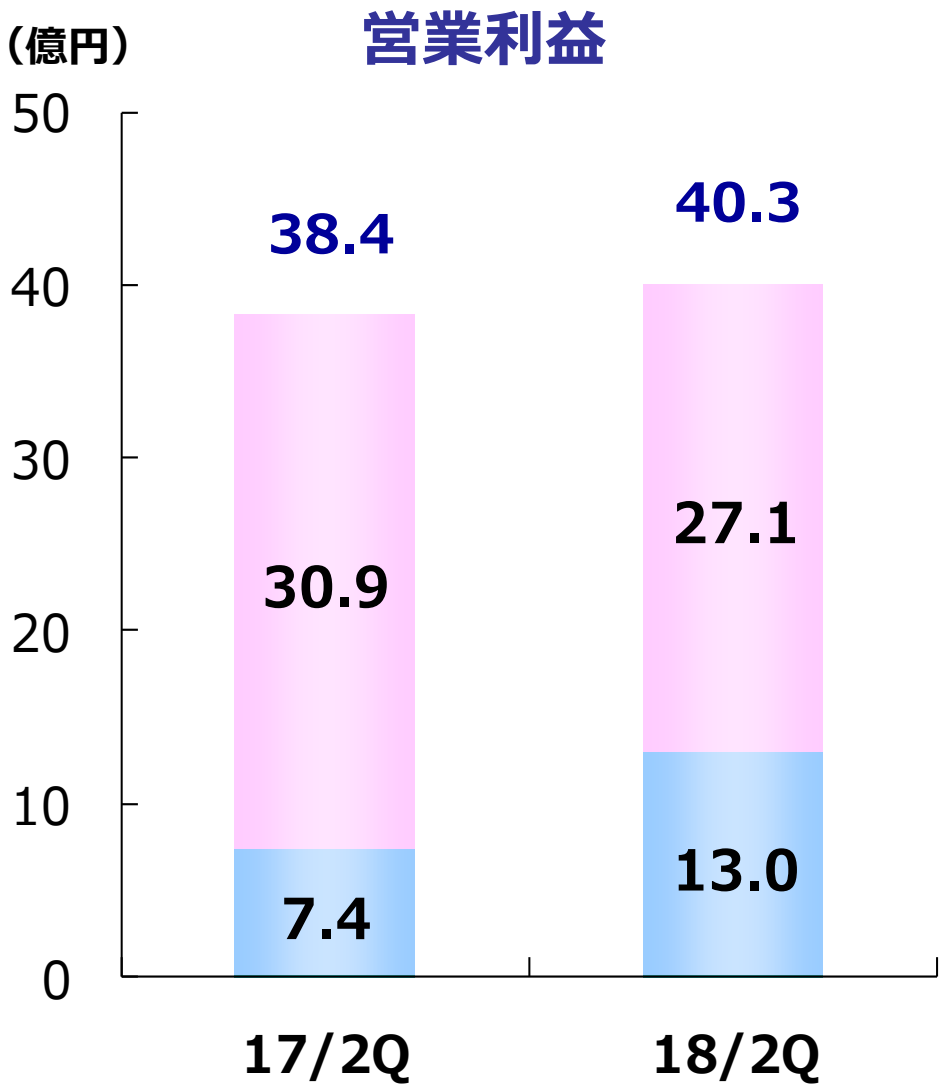
«18年度2Q 対 17年度2Q»
営業利益+2億円



2-3 第２Ｑ 連結事業別セグメント

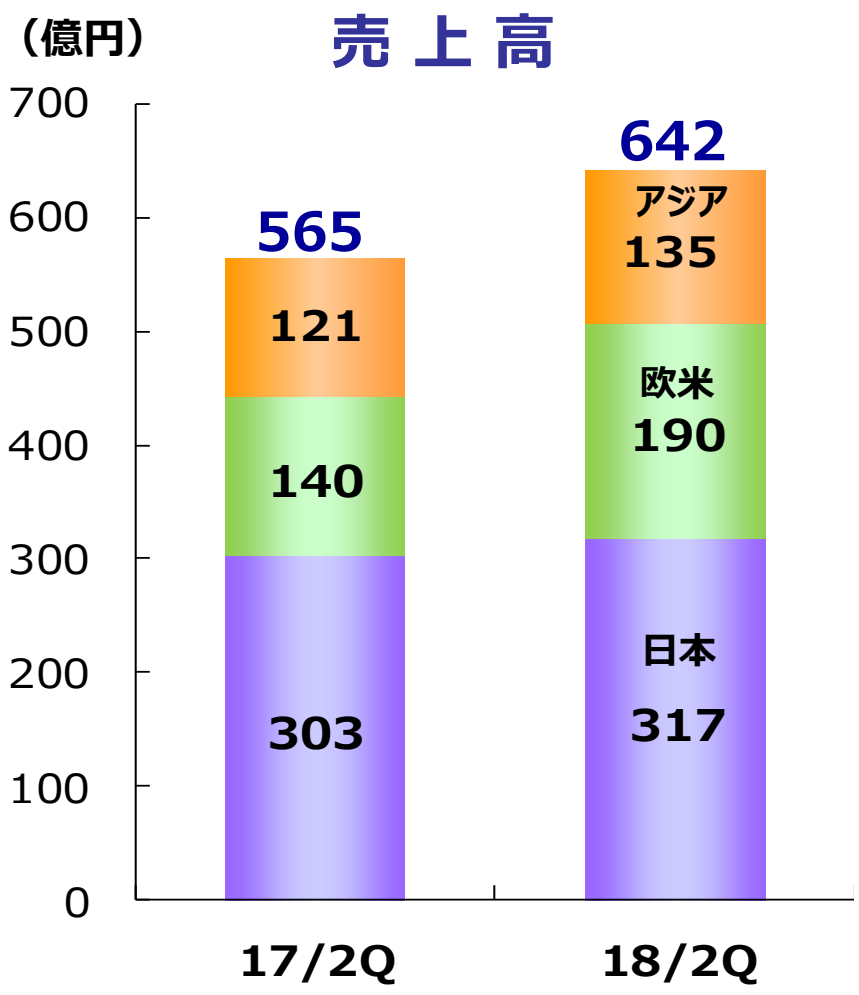
プレス・樹脂事業は増収増益、バルブ事業は事業取得費用により増収減益

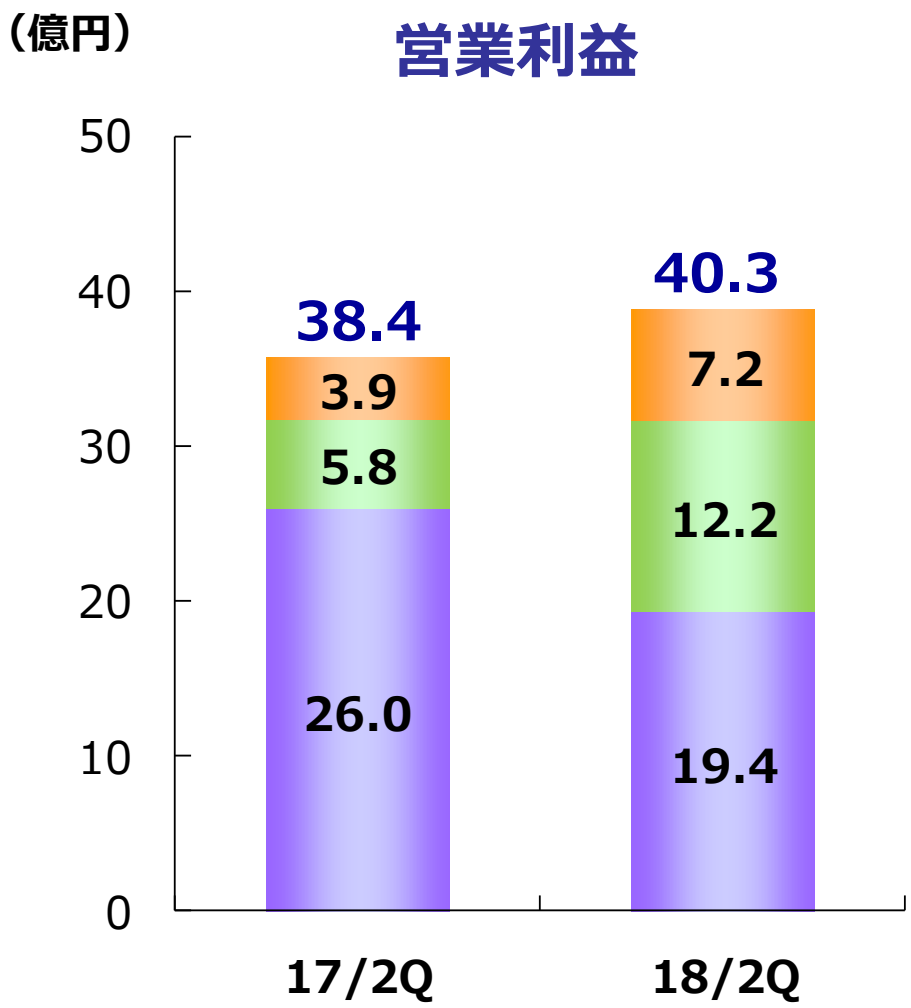




2-4 第２Ｑ 連結地域別セグメント

欧米・アジアは増収増益、日本は主に事業取得費用により増収減益

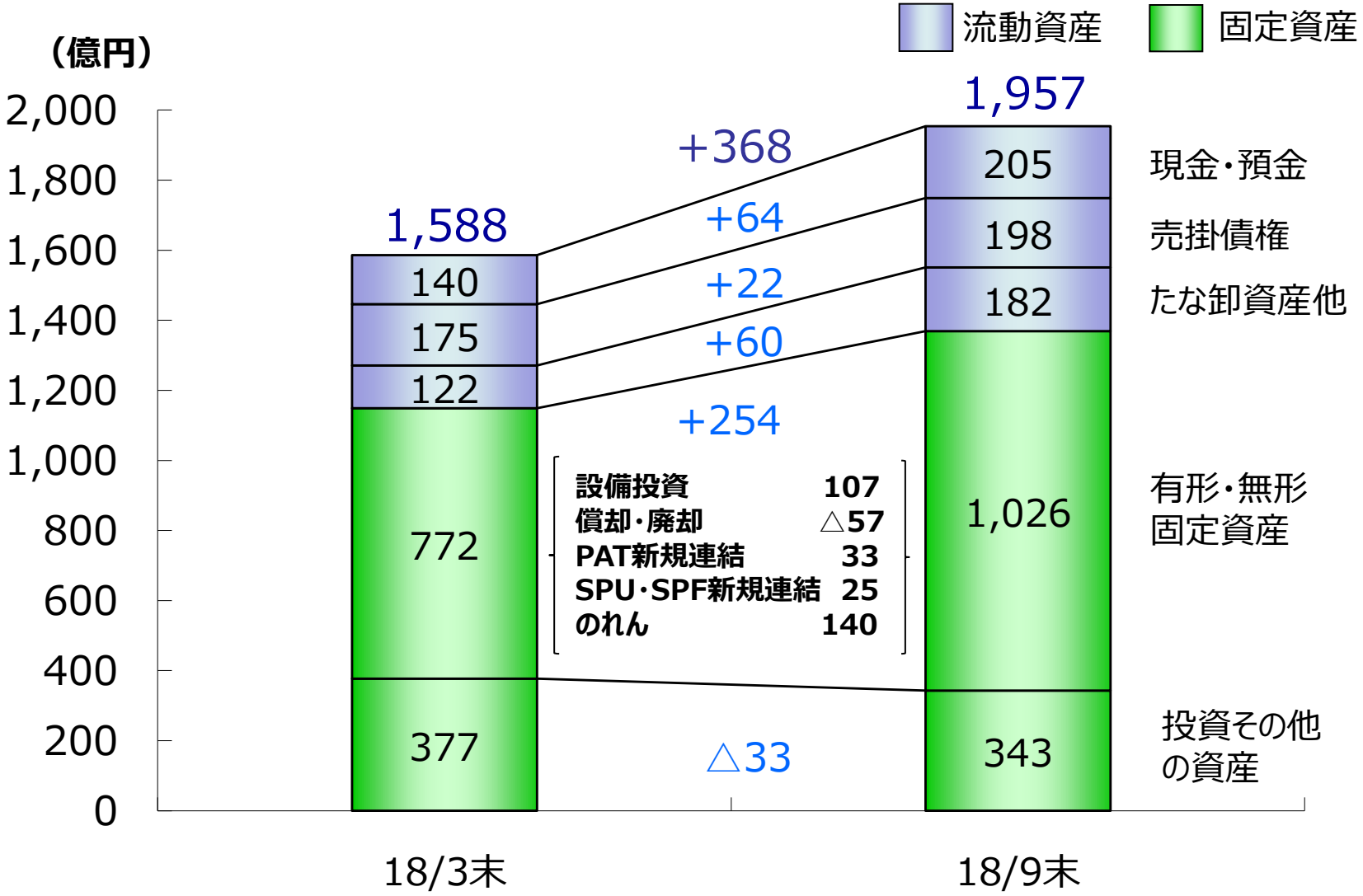




※１８年度よりベルギー・フランスの子会社を連結しており、北米地域と合わせて「欧米」としております。

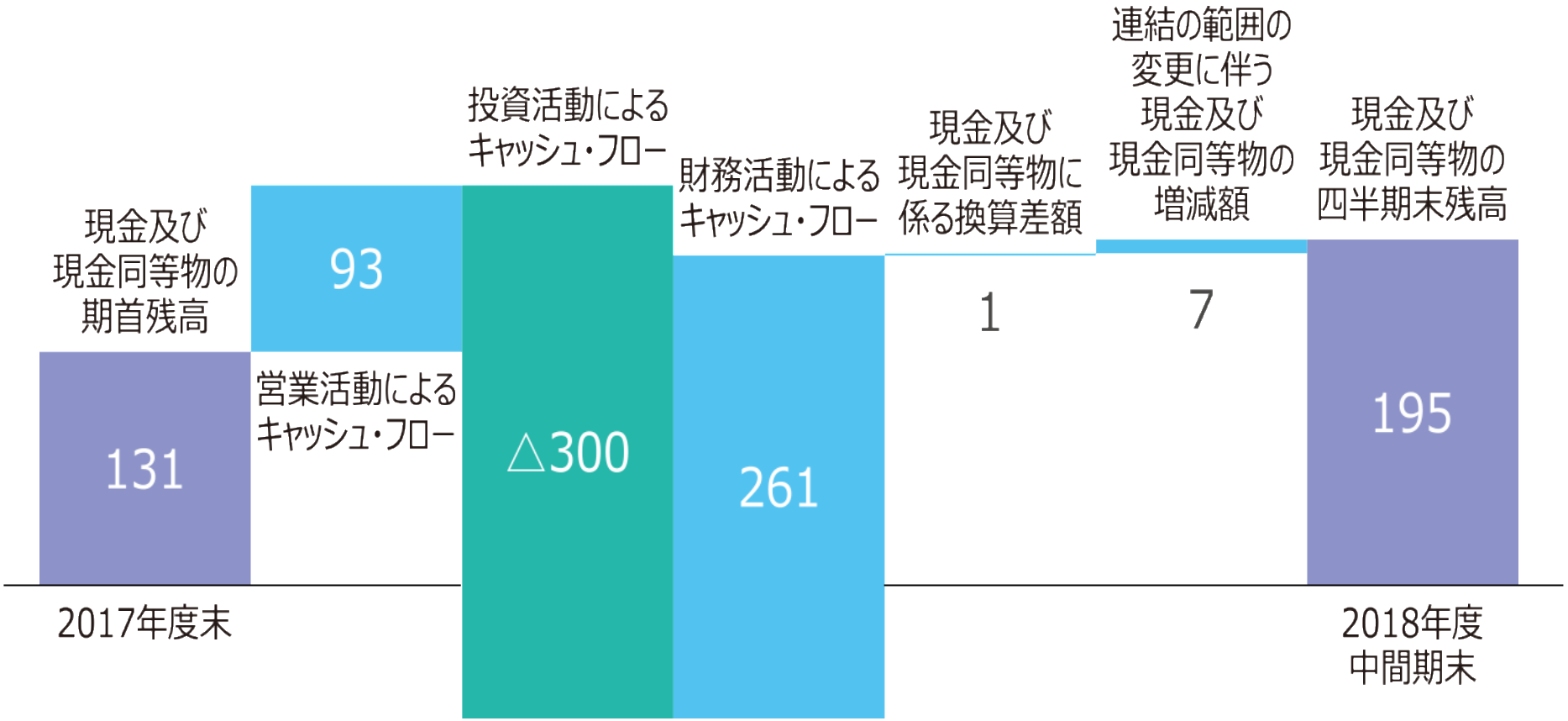
2-5 第２Ｑ 連結総資産増減内訳

事業取得により、総資産が増加



2-6 連結キャッシュフロー

フリーキャッシュフローは▲206億円



※有利子負債は579億円(2018年3月末305億円から273億円増、内、SCHRADER事業に関わる借入は202億円)

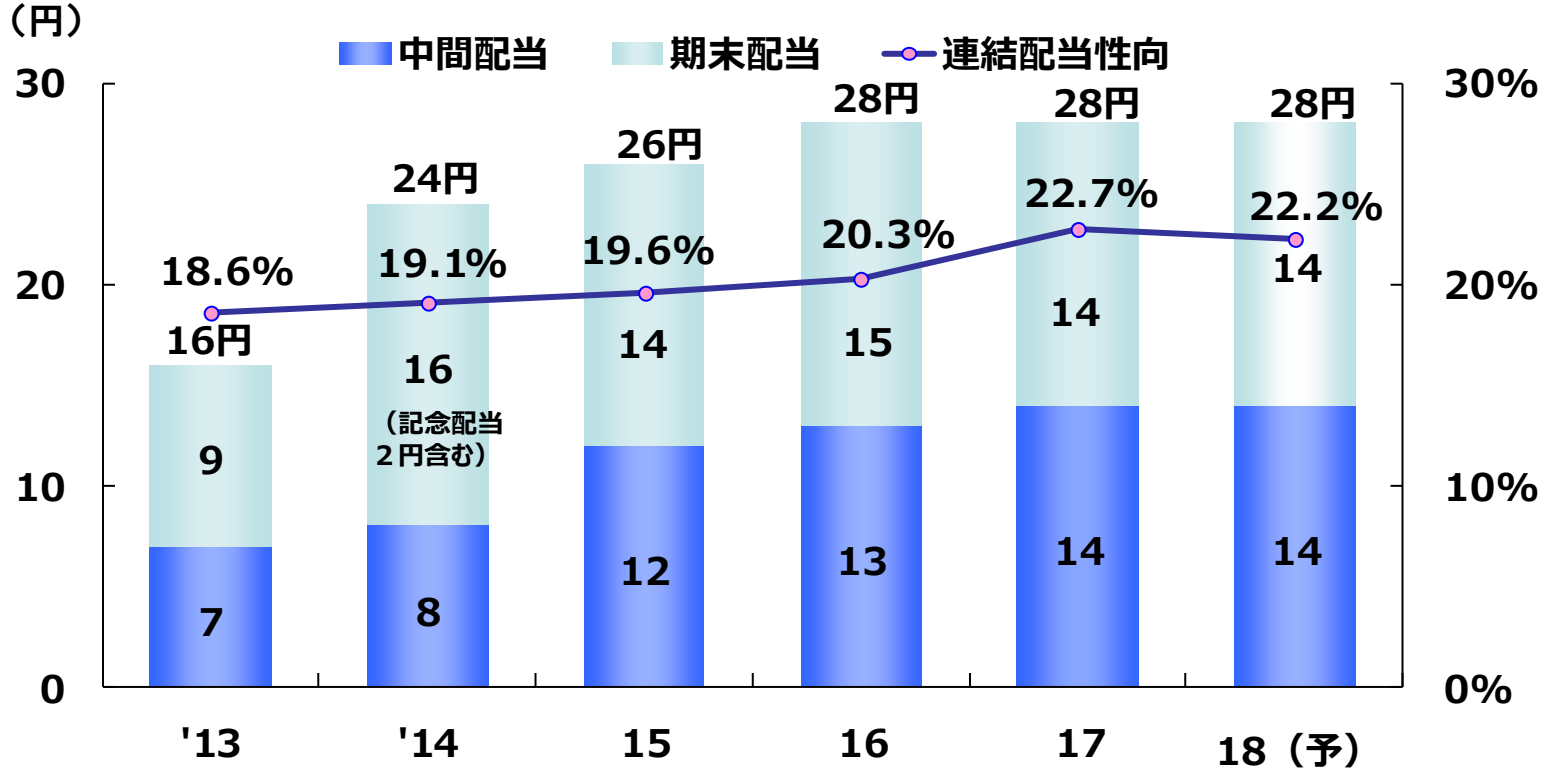
2-7 株主還元

配当は前期と同額を予定

■ 年間配当

２０１７年度　　年間：28円（中間：14円 期末：14円）

２０１８年度予想　年間：28円（中間：14円 期末：14円）



1．会社概要

2．2018年度第2四半期業績

3．2018年度通期予想

4．Schraderバルブ事業の状況

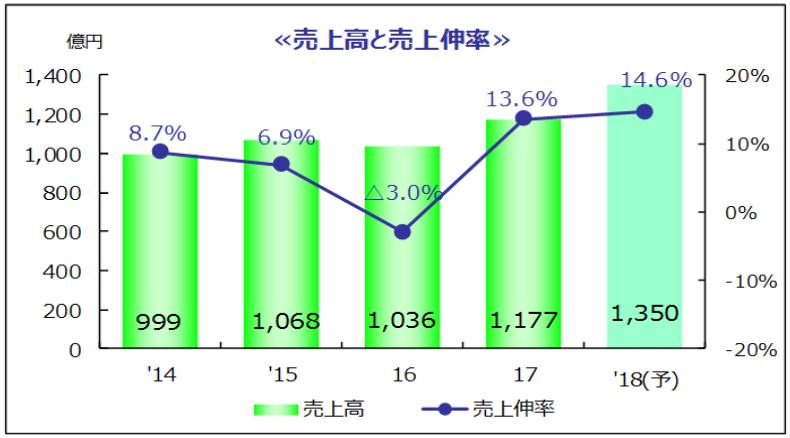
5．中期経営計画（2018年度～2020年度）

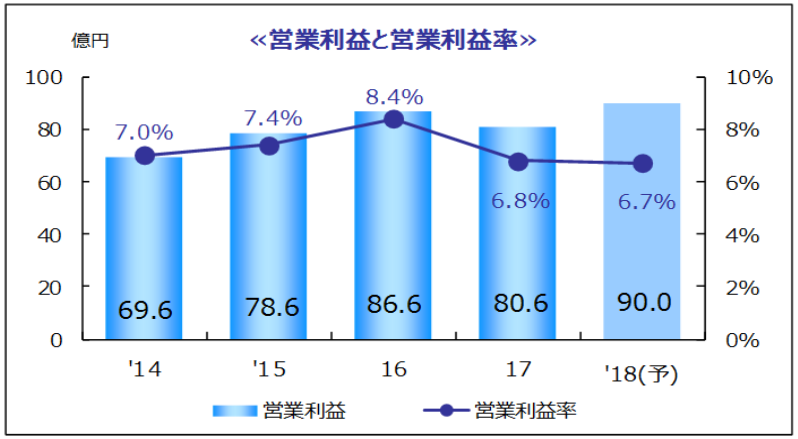
3-1 通期 連結業績予想

通期予想を修正（売上高・利益いずれも過去最高）

［百万円］

	'16	'17	'18 (4/26予想)	'18 (今回予想)	前回予想比 増減	前回予想比 増減率	前期比 増減	前期比 増減率	通期（予想）
売上高	103,669	117,758	125,000	135,000	10,000	8.0%	17,242	14.6%	2期連続の増収 過去最高
営業利益	8,662	8,063	8,800	9,000	200	2.3%	937	11.6%	2期振りの増益 過去最高
経常利益	9,957	9,485	9,800	10,500	700	7.1%	1,015	10.7%	2期振りの増益 過去最高
当期純利益	7,524	7,393	7,200	7,600	400	5.6%	207	2.8%	2期振りの増益 過去最高
売上高営業利益率	8.4%	6.8%	7.0%	6.7%	△0.3%		△0.1%		
ROE	9.7%	8.5%	7.7%	8.0%	0.3%		△0.5%		
ROA（営業利益ﾍﾞｰｽ）	6.4%	5.4%	5.3%	5.0%	△0.3%		△0.4%		
一株当り純資産	(円) 1,404	1,508	1,603	1,627	24	1.5%	119	7.9%	

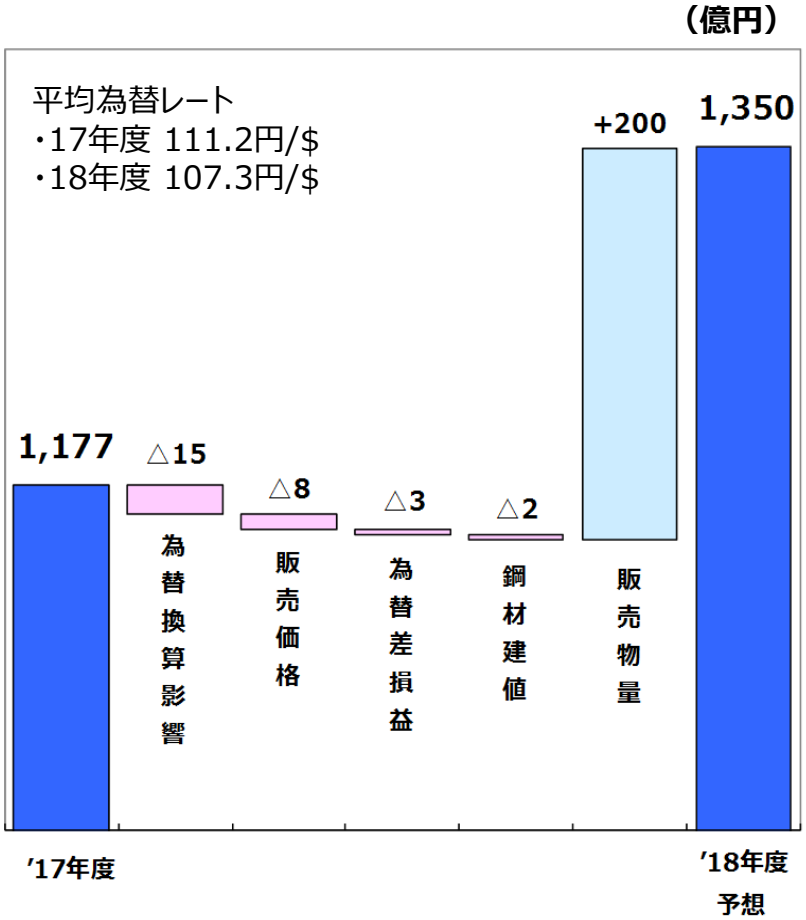




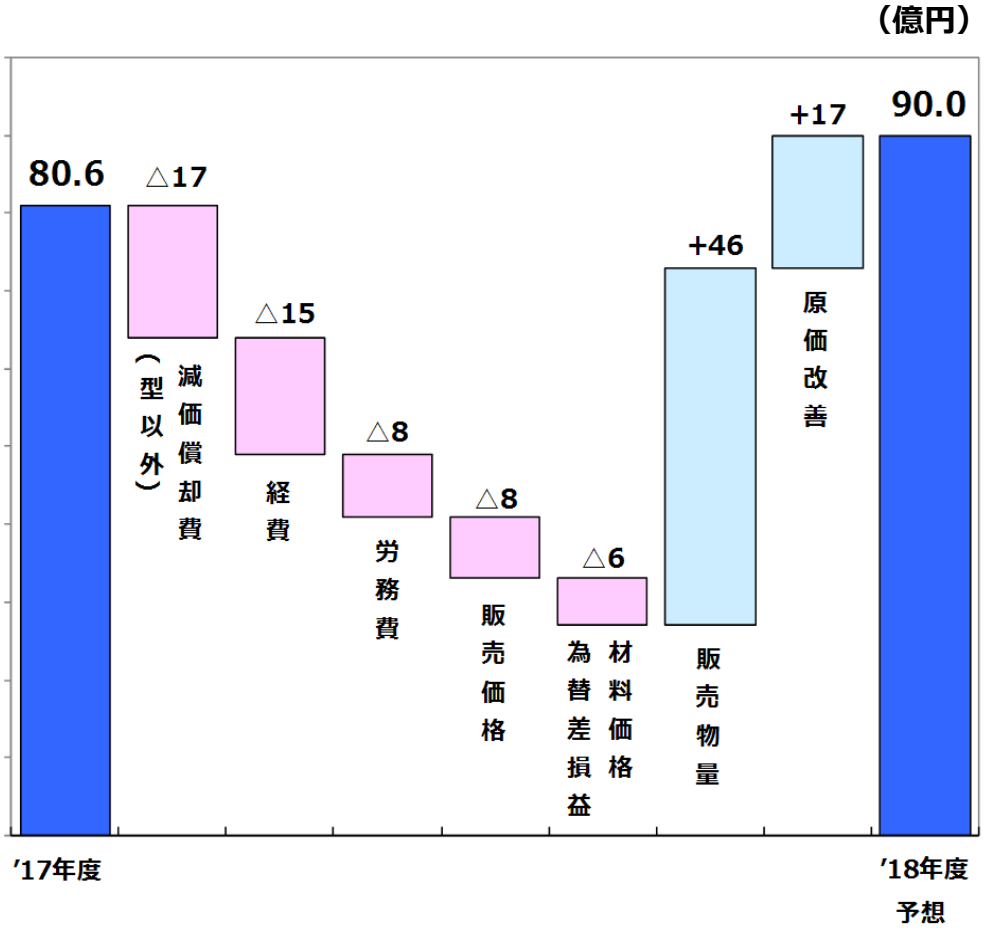
3-2 通期 連結 営業利益増減要因

売上高・営業利益は拡販と事業取得により増収・増益

«18年度予想 対 17年度»
売上+172億円

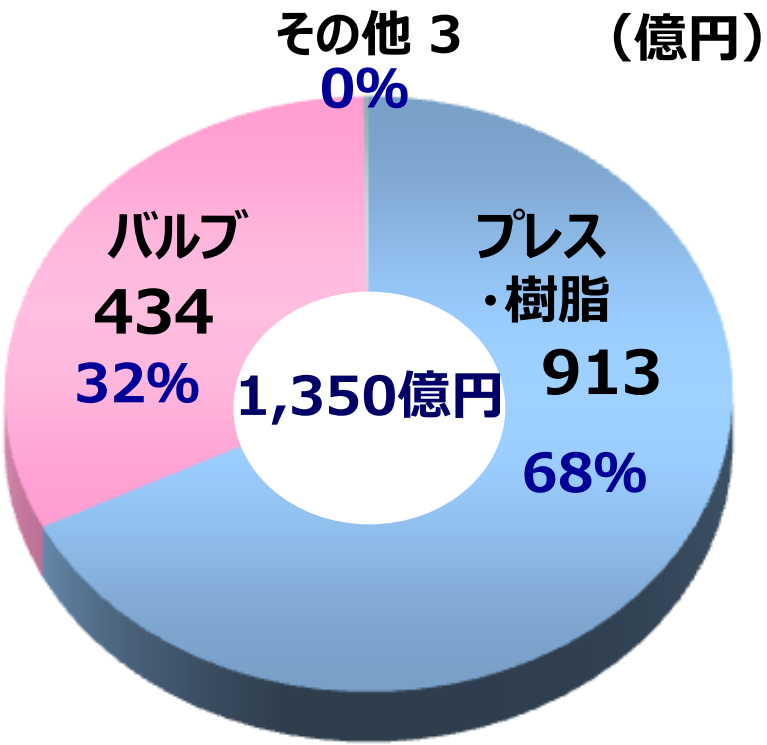


«18年度予想 対 17年度»
営業利益+9億円



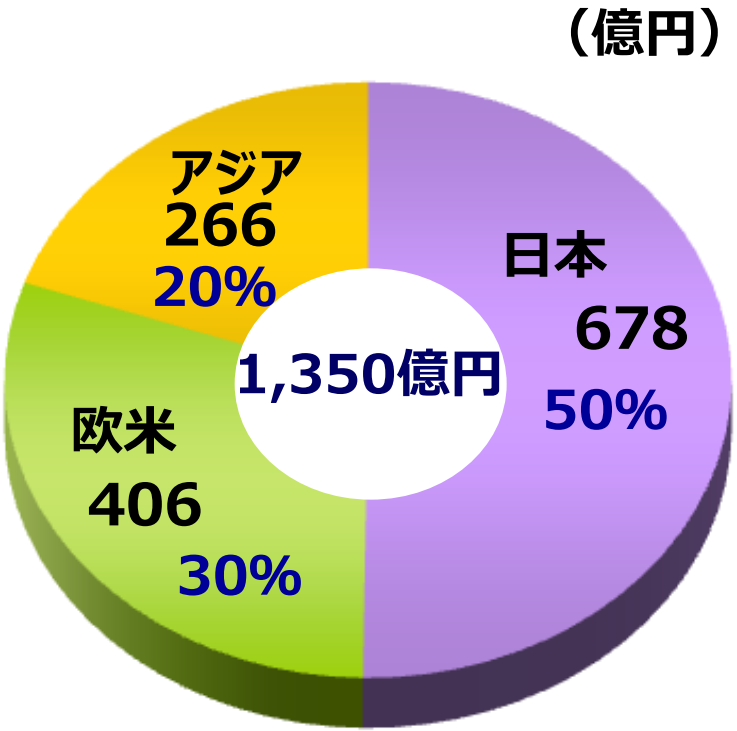
3-3 2018年度 連結セグメント予想

事業別売上高



【プレス樹脂事業】 自動車用プレス・樹脂製品
【バルブ事業】 タイヤバルブ、空調用バルブ、ＴＰＭＳ
【そ　の　他】 情報・サービス

地域別売上高

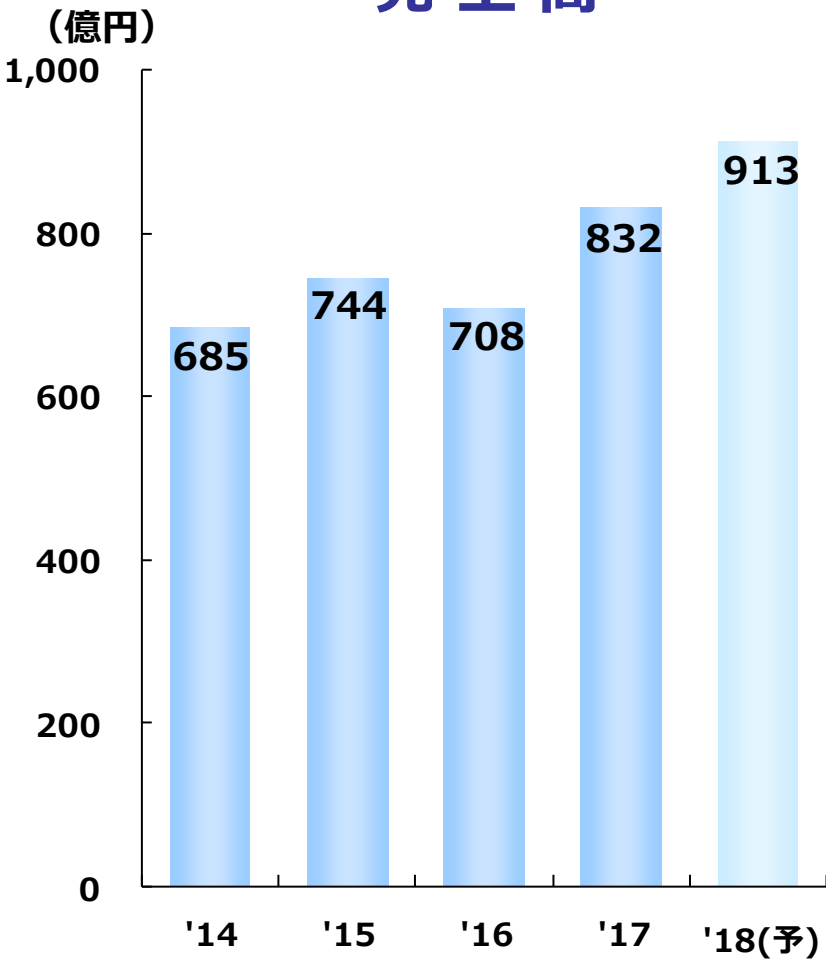


【日　本】 大垣・九州・東北の３拠点体制
【欧　米】 米国・フランス・ベルギー
【アジア】 台湾・韓国・タイ・中国

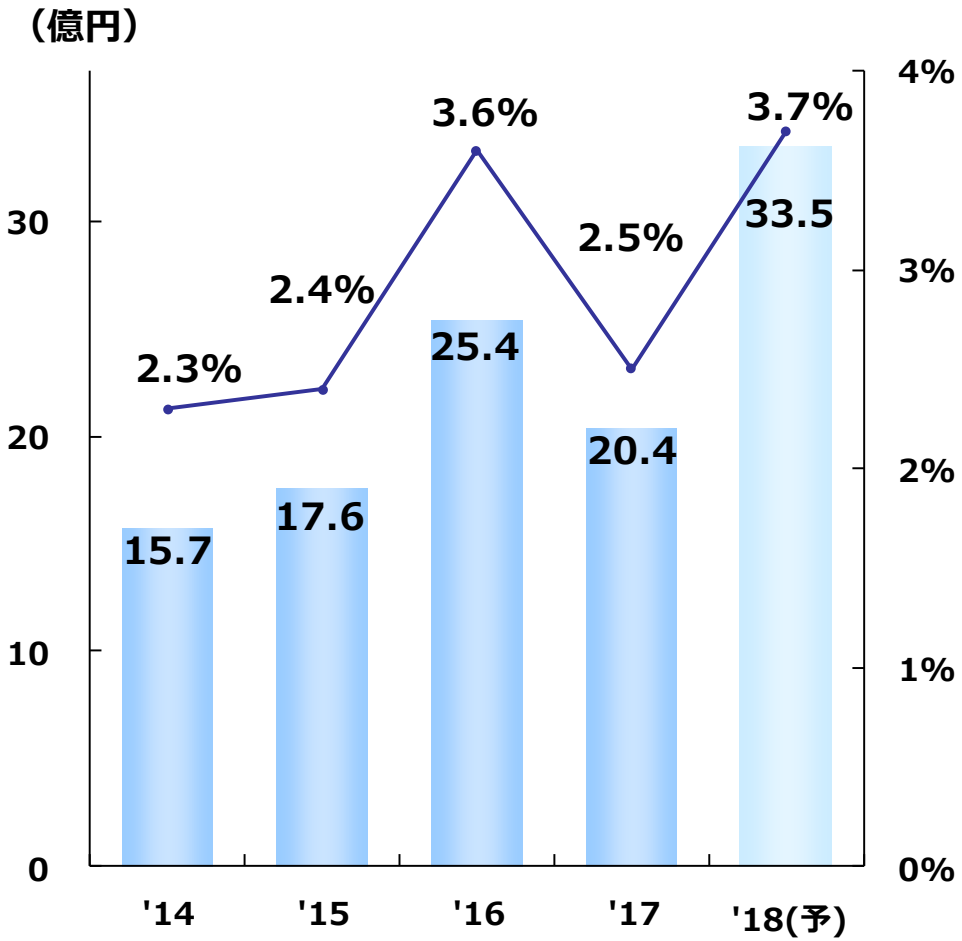
3-4 事業別セグメント：プレス樹脂製品事業

新製品売上が寄与し増収、改善等により増益

売 上 高



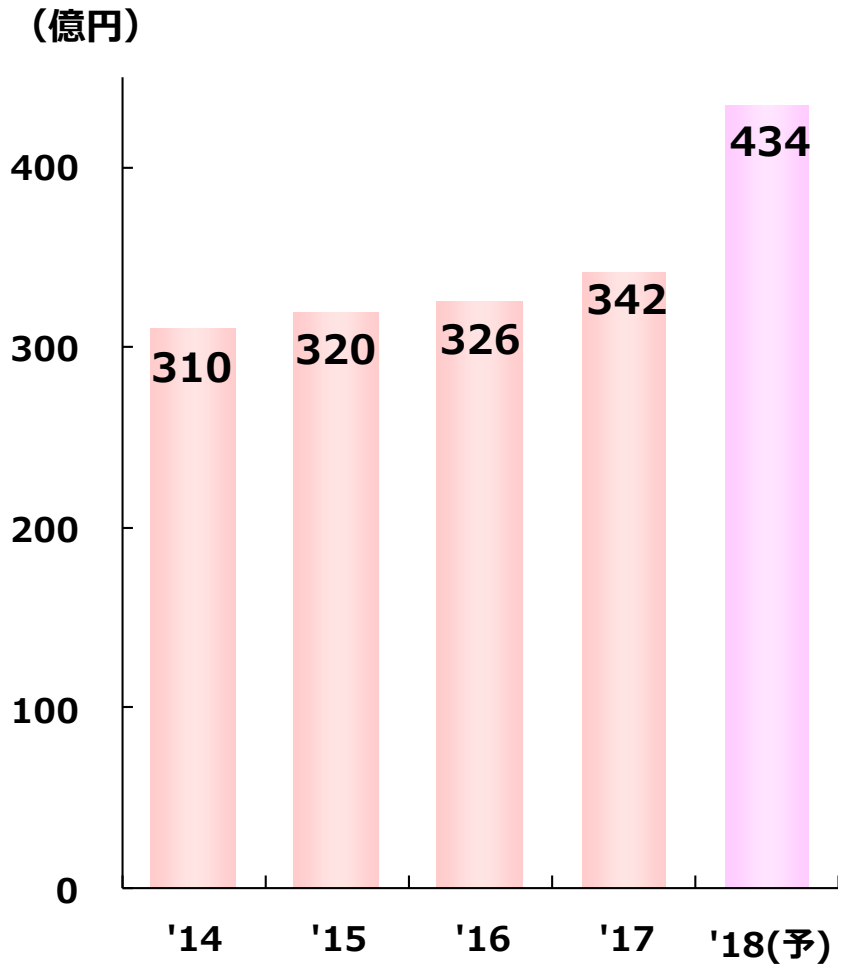
営業利益



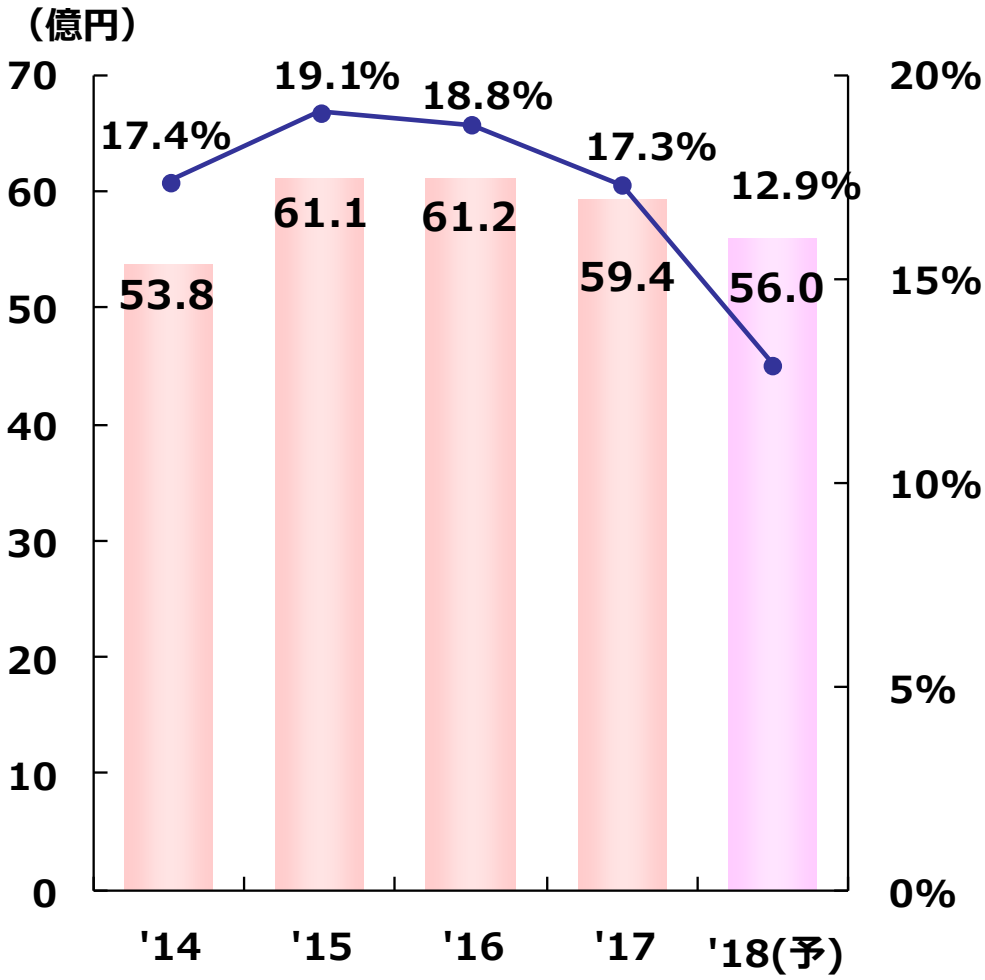
3-5 事業別セグメント：バルブ製品事業

売上高は事業取得により増収、経費増の影響で減益

売 上 高

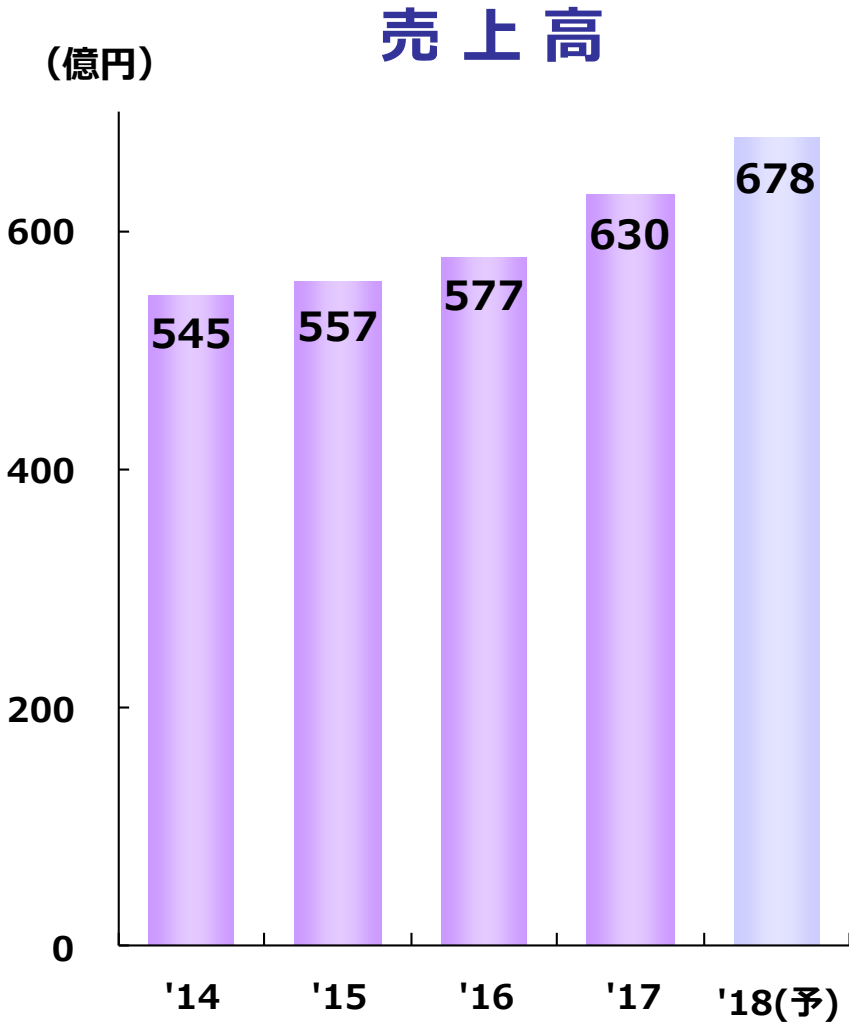


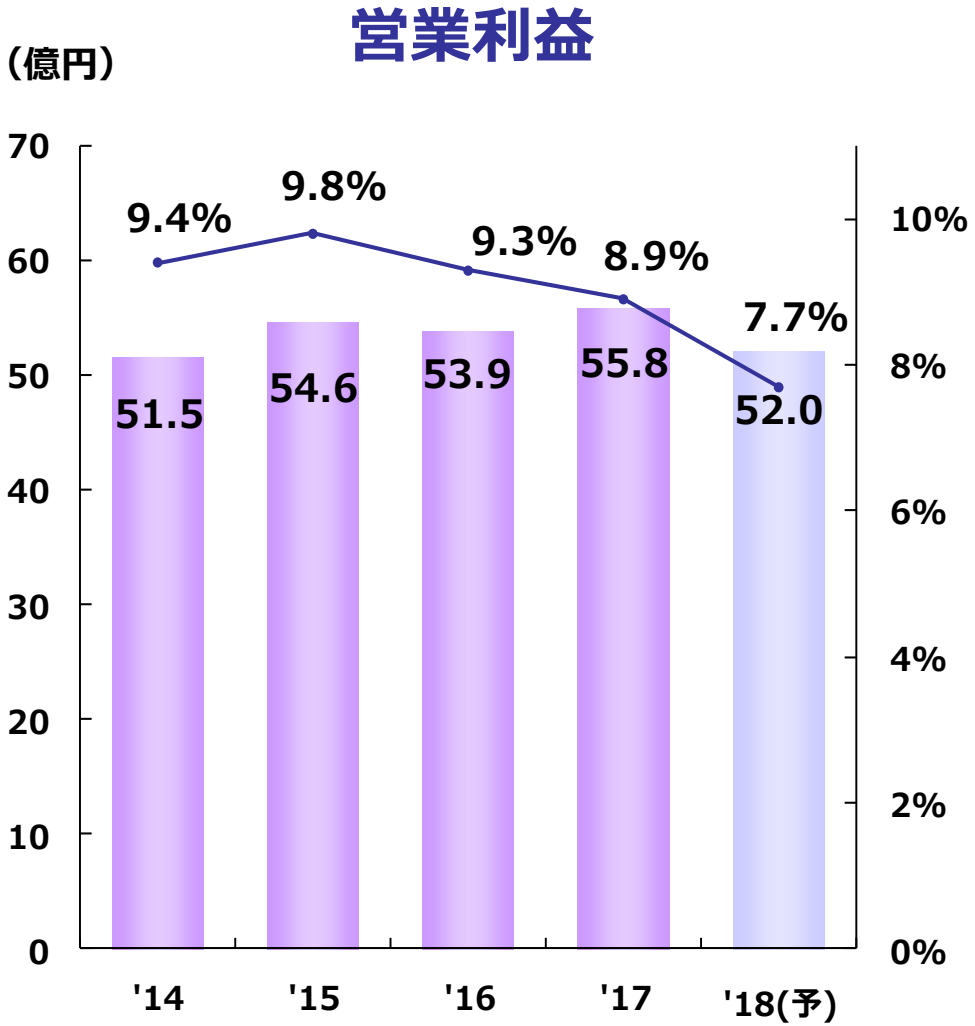
営業利益



3-6 地域別セグメント：日本

増収なるも経費増により、減益

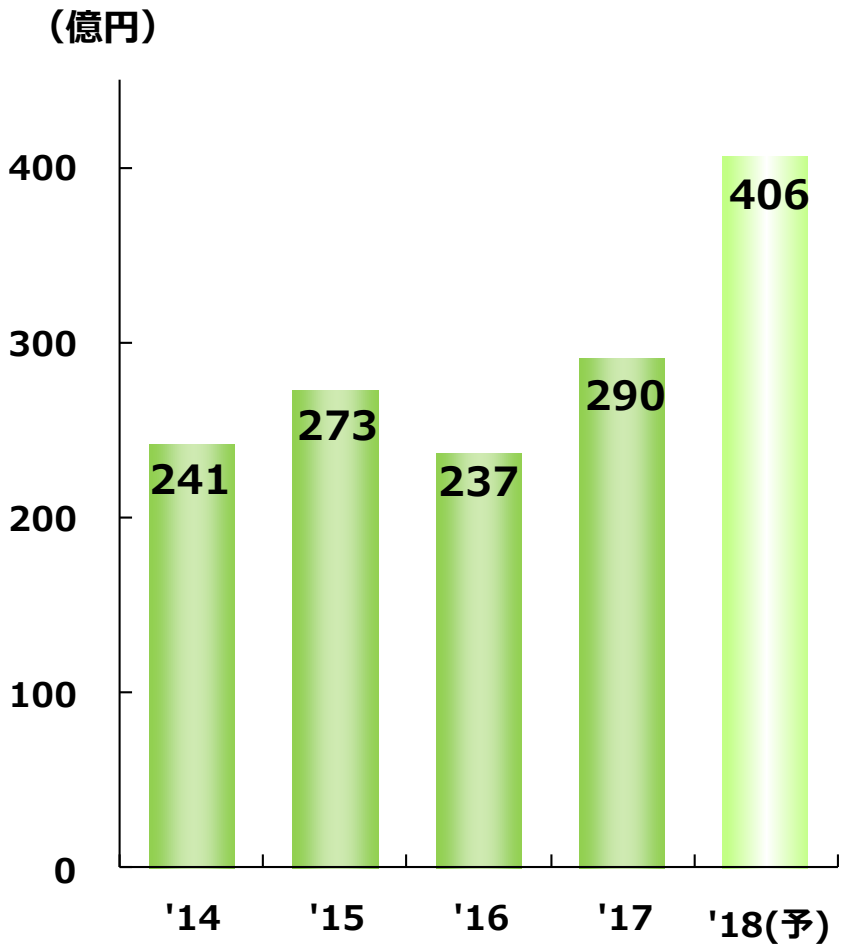




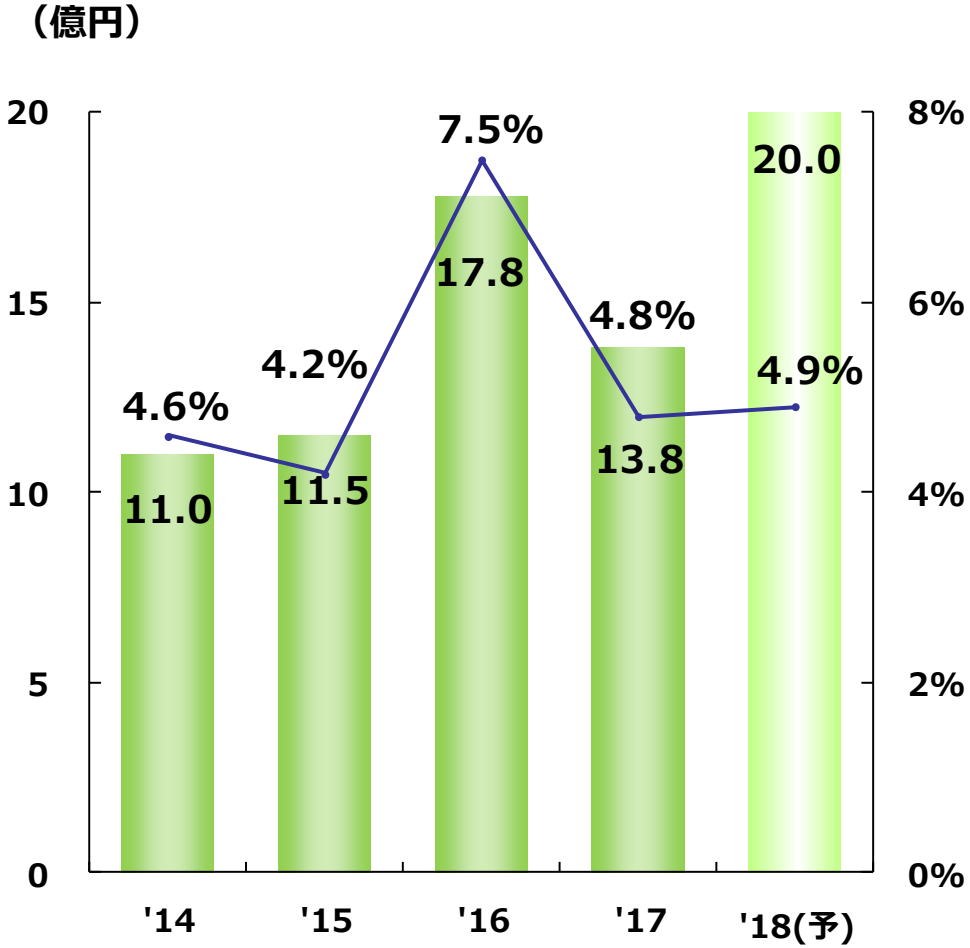
3-7 地域別セグメント：欧米

事業取得により増収、改善等により増益

売 上 高



営業利益

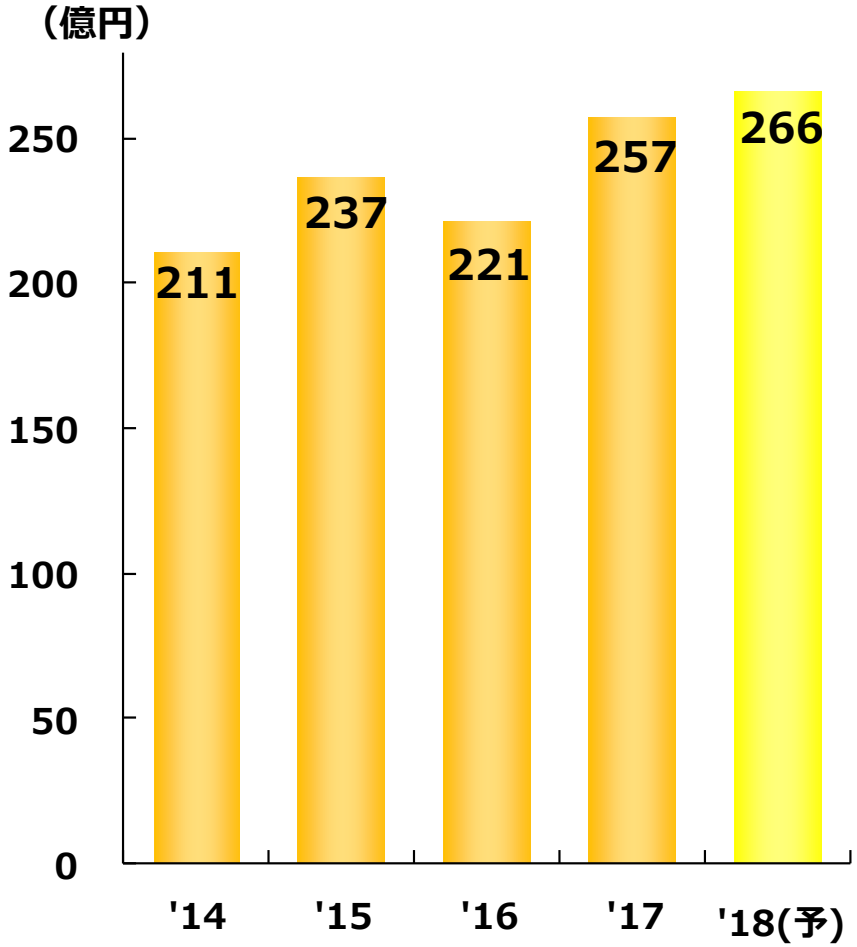


※１８年度よりベルギー・フランスの子会社を連結しており、北米地域と合わせて「欧米」としております。

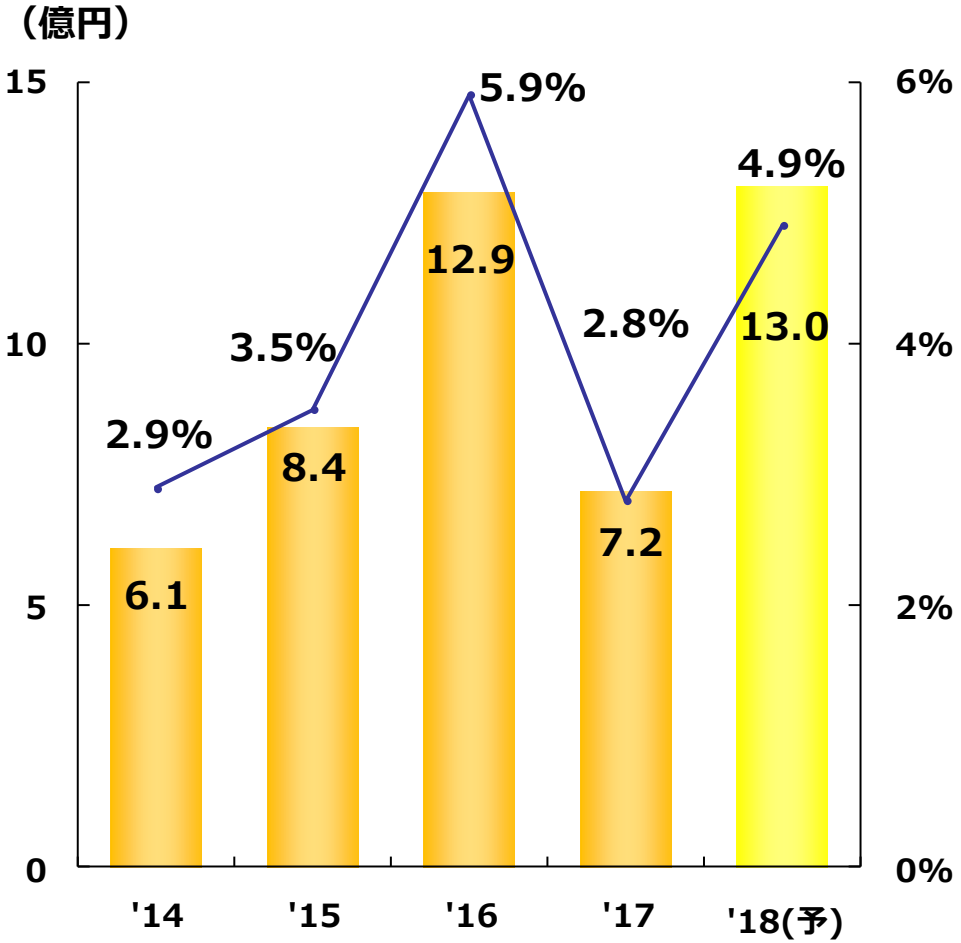
3-8 地域別セグメント：アジア

プレス・バルブ事業ともに増収、並びに改善により増益

売 上 高

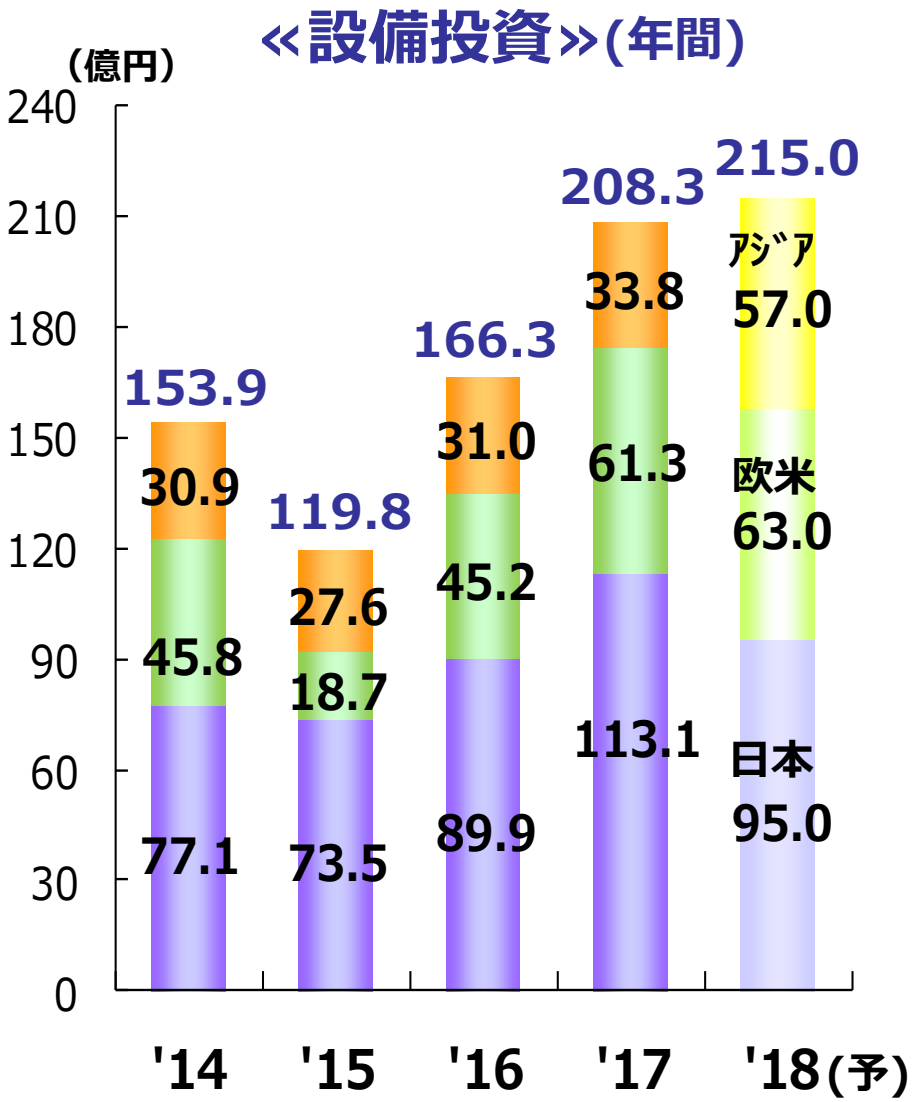


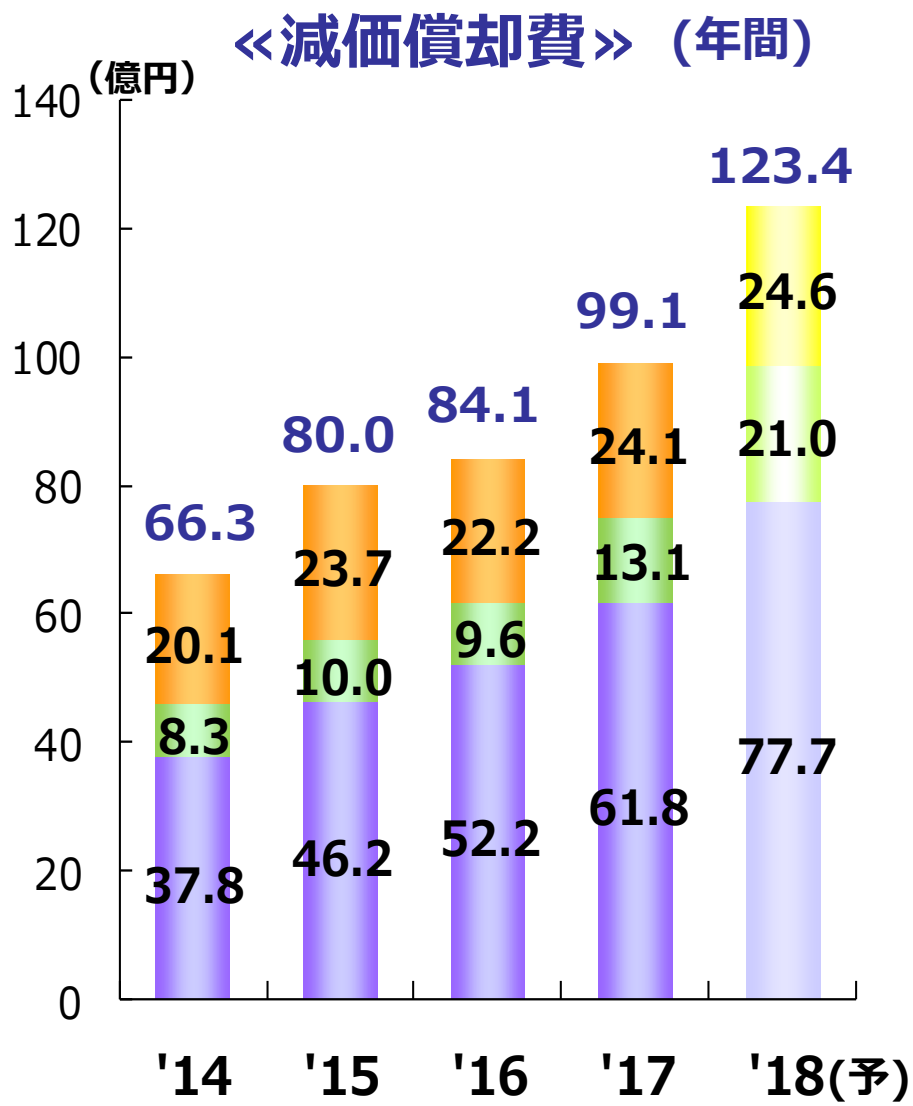
営業利益



3-9 地域別設備投資・減価償却費

戦略的な設備投資により、償却費が増加

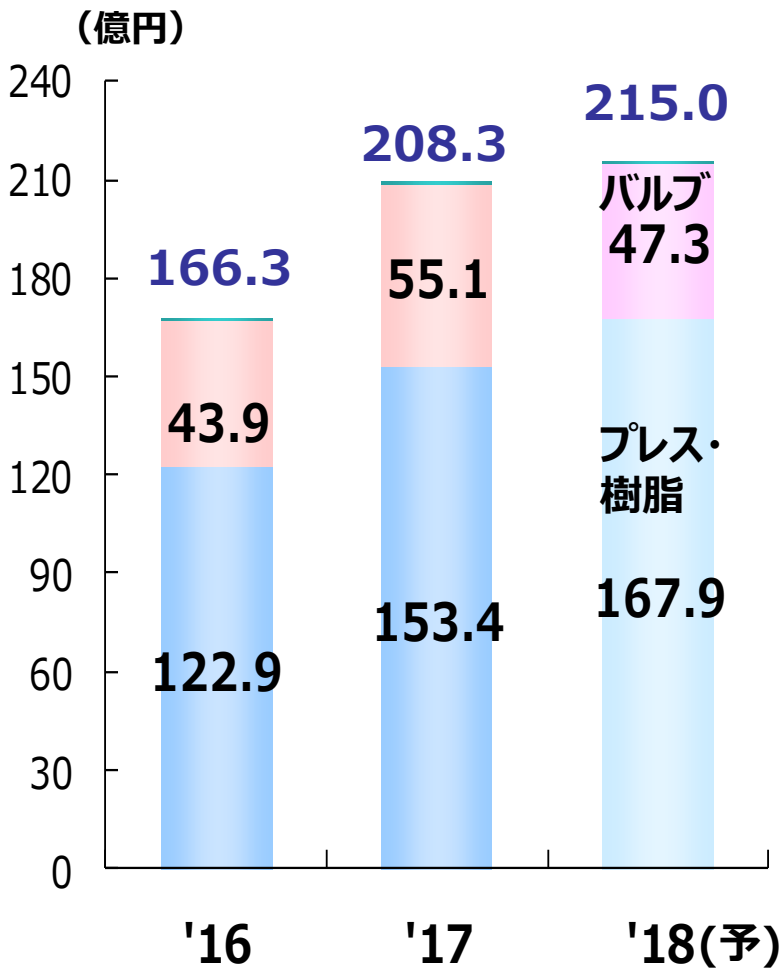




3-10 事業別設備投資

超ハイテン・TPMS等、戦略的投資を推進

«設備投資»(年間)



«主要アイテム»

事業	地域	項目	16年度	17年度	18年度
バルブ	日本	バルブ戦略投資	▲	―	●
	アジア		▲	●	
				▲	○
	欧米			▲	○
プレス	日本	プレス戦略投資		▲	○
				▲	―
					▲
			●		
	アジア		▲	―	
				▲	―
			▲		―
	欧米		▲		●
				▲	―
			●		
			▲		●
				▲	―

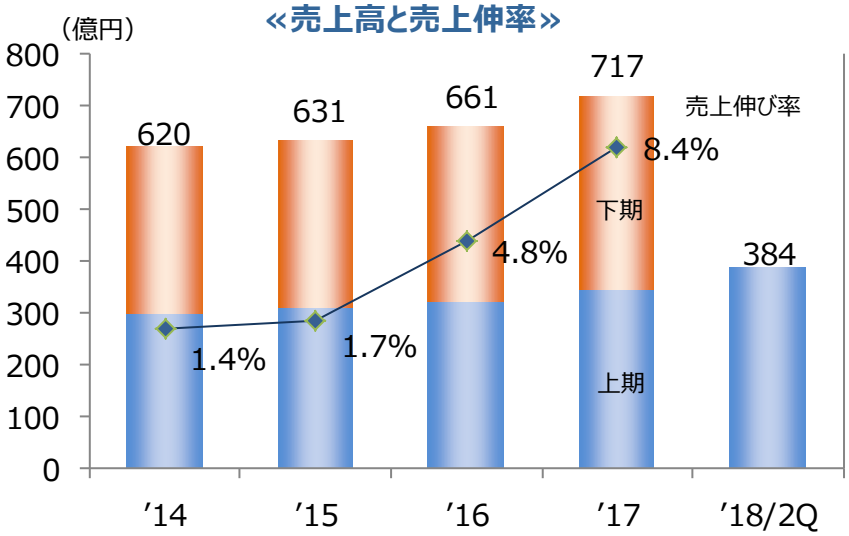
注. ▲は着工済み、●は稼働済み、○は稼働予定。

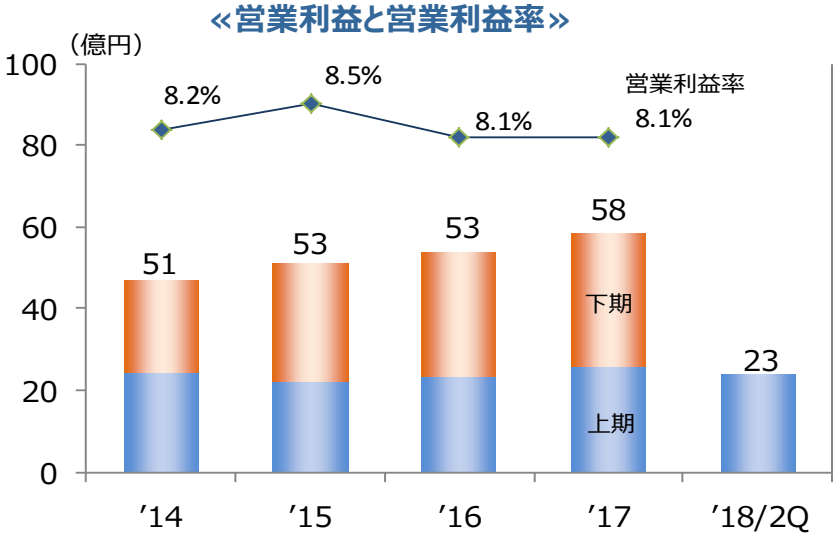
3-11 ＜参考＞個別業績

売上高・経常利益・四半期純利益は過去最高

単位：百万円、%

	前第2四半期		’17（前期）		第2四半期		前年同期比		第2四半期累計
	（実績）	売上比	（実績）	売上比	（実績）	売上比	増減額	増減率	
売上高	34,293	100%	71,715	100%	38,473	100%	4,180	12.2%	4期連続の増収 過去最高
営業利益	2,574	7.5%	5,835	8.1%	2,370	6.2%	△ 203	△ 7.9%	4期振りの減益
経常利益	3,485	10.2%	7,210	10.1%	3,784	9.8%	298	8.6%	2期連続の増益 過去最高
四半期（当期）純利益	2,543	7.4%	5,284	7.4%	2,869	7.5%	326	12.8%	2期連続の増益 過去最高
1株当り四半期（当期）純利益	42.37円	-	87.64円	-	47.26円	-	4.89円	-	





1．会社概要

2．2018年度第2四半期業績

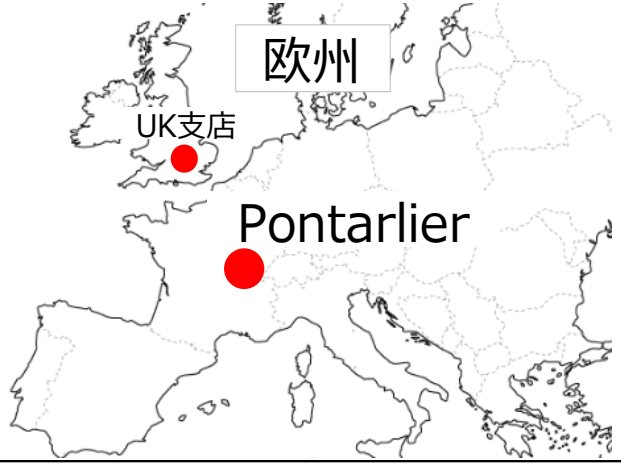
3．2018年度通期予想

4．Schraderバルブ事業の状況

5．中期経営計画（2018年度～2020年度）

4-1 Schraderバルブ事業取得について

米国・仏国3社の100%株式取得

	米国（Altavista）	フランス（Pontarlier）
ブランド	SCHRADER PACIFIC Advanced Valves	
会社名	Schrader-Bridgeport International, Inc.	August France Holding Company SAS Schrader SAS（UK支店を含む）
所在地	Virginia州 Altavista	Bourgogne地域圏 Pontarlier
従業員数	200人	400人
生産品目	タイヤバルブ、バルブコア、 エアコン用制御機器部品、産業機械用部品	タイヤバルブ、バルブコア、 TPMS用スナップイン/クランプインバルブ
地図		
経緯	・2018年5月22日開催の取締役会で、3社の全株式取得を決議。 ・2018年8月31日に株式取得が完了。	

4-2 事業取得の狙いと戦略的意義

バルブ事業の基盤強化

長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」
中期経営計画「OCEAN-20」

↓

創業のバルブ事業に磨きをかける

↓

PACIFIC と SCHRADER でリーディングポジション

↓

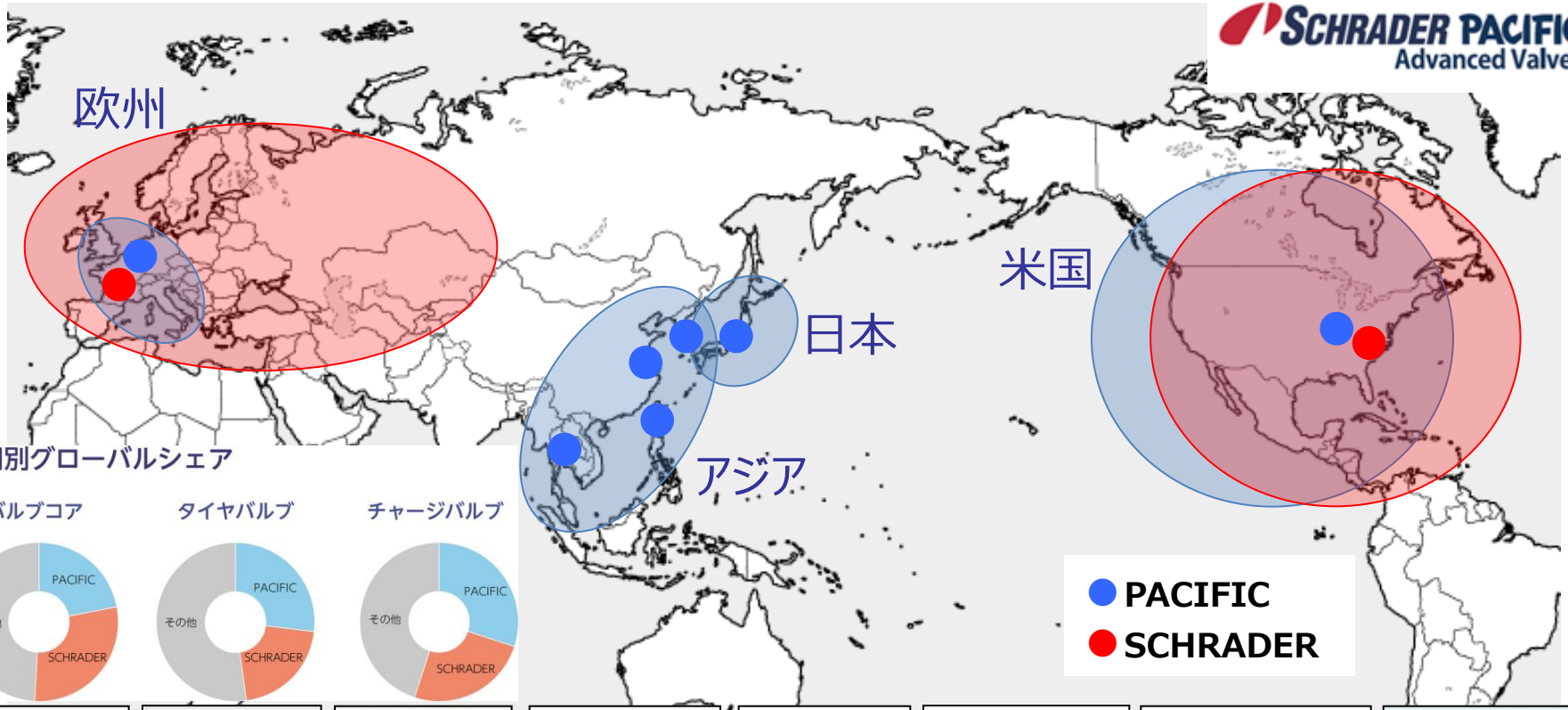
世界４極：日・米・欧・アジアの市場・拠点

↓

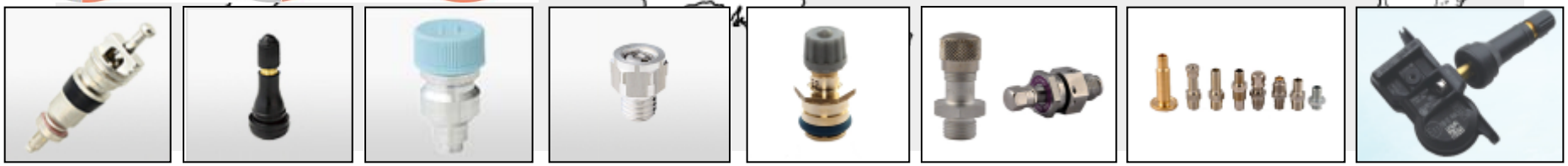
トップクラスのGLOCALな部品メーカーを目指す

4-3 戦略的意義

PACIFIC と SCHRADER：４極でリーディングポジション



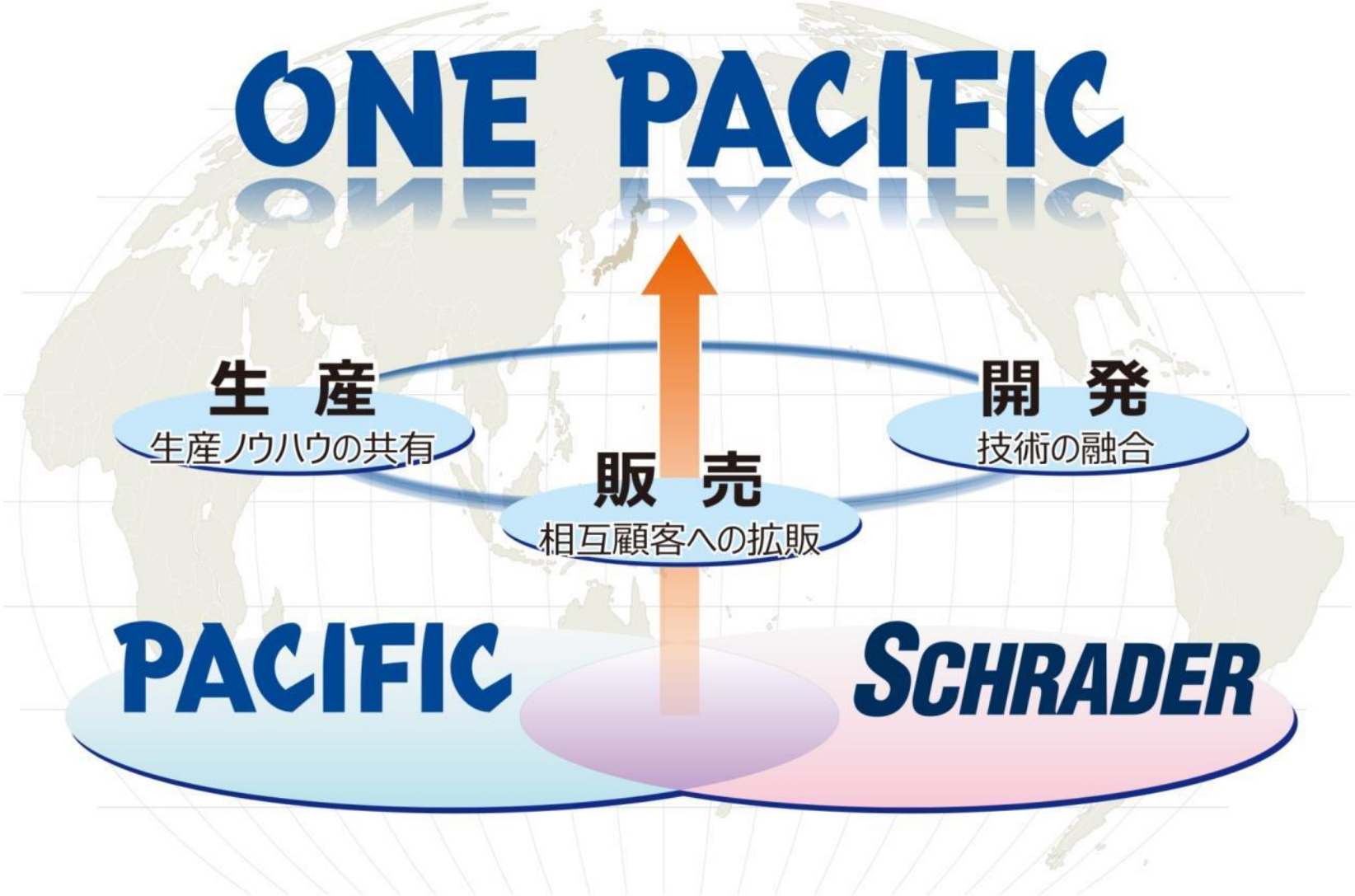
品目別グローバルシェア



バルブコア	タイヤバルブ	チャージバルブ	リリーフバルブ	燃料系バルブ	航空機用バルブ	産業機械用バルブ	TPMS
● ●	● ●	● ●	● ●	●	●	●	●

4-4 業務推進イメージ

SCHRADER・PACIFICが共に成長



1．会社概要

2．2018年度第2四半期業績

3．2018年度通期予想

4．Schraderバルブ事業の状況

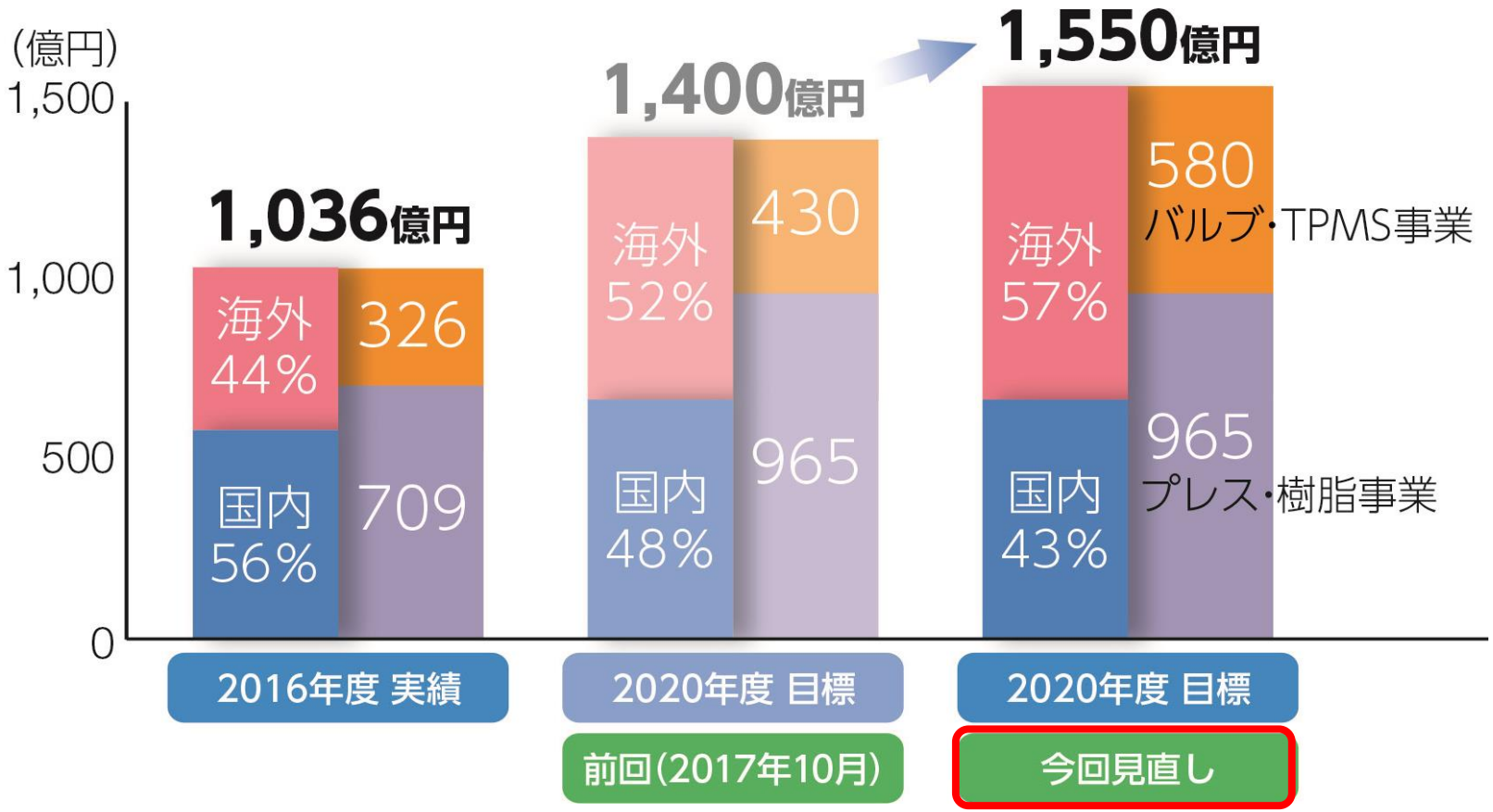
5．中期経営計画（2018年度～2020年度）

5-1「OCEAN-20」目標値の見直し

Schrader事業の取得に伴い見直し

2020年度目標		
連結売上高	連結営業利益率	ROA(営業利益)
1,400億円	**8%台**	**7%台**

2020年度目標(新)		
連結売上高	連結営業利益率	ROA(営業利益)
1,550億円	**8%台**	**7%台**



5-2 外部環境認識

100年に一度の大変革

【規制強化】
・安全規制
・環境規制

【業界動向】
・新興国市場拡大
・技術の多様化
・異業種参入
・ものづくり革新

安全性能・環境性能・快適性能の向上

電動化	知能化	情報化	軽量化
・PHV ・EV ・FCV	・AI ・自動運転	・コネクテッド ・IoT ・ビックデータ	・鉄の使い切り ・NV性能 ・マルチマテリアル

CASE

MaaS

モビリティ社会

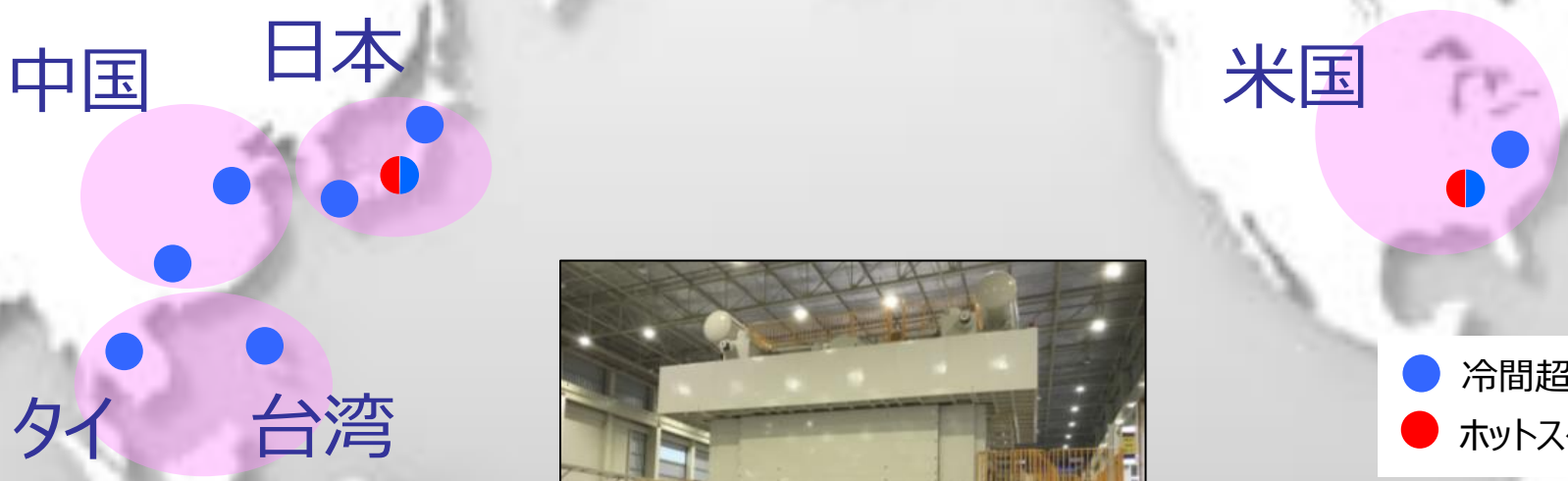
当社方針

業界動向・顧客ニーズに応える技術開発・拠点整備

5-3　軽量化プレス製品の開発

ニーズに応えた冷間超ハイテン、ホットスタンプの提供

日本・米国・中国・タイ・台湾の各拠点で生産体制を整備



超ハイテン用大型プレス機

5-4 快適・環境性能向上樹脂製品の提供

新素材・新工法で機能向上と軽量化を実現

■ 防音・防振技術の深化によりNV性能No.1へ

・ウレタン発泡製品のNV性能(※)向上により、
エンジンカバー・インシュレーターへの採用拡大
・低騒音化・快適性向上に貢献
・コスト低減、軽量化を実現

オールウレタン
エンジンカバー

■ 樹脂フィルム・加飾技術の取組み

・メッキに代わる、樹脂フィルム加飾技術により
軽量化とリサイクル性(マテリアルリサイクル)を実現
・多様なニーズに応える
加飾バリエーションの展開

フィルム技術を用いた
ホイールセンターオーナメント

(※)NV性能：Noise(騒音)、Vibration(振動)を低減する性能

5-5 鍛圧プレス・DC事業で技術多様化

鍛圧プレス：複合技術で強度アップと軽量化

・板金成形と冷間鍛造を複合した
板鍛造技術で「強度アップ」と「軽量化」を実現
・新型トランスミッション部品等に採用拡大
・養老工場を拡張し、米国オハイオ州拠点
とともに、生産体制を拡充

カバー
(AT変速部部品)

フランジ・ピストン

ダイカスト (DC)：韓国拠点　受注品目拡大

・カーエアコン用コンプレッサー部品の
一貫生産体制を構築
・電動コンプレッサー部品・電動パワステ部品
への品目拡大

カーエアコン用コンプレッサー部品

5-6 安全・環境に寄与するTPMS製品の拡充

新製品開発と中国拠点での生産能力増強

■TPMSの進化（Eタイプの開発）

・新型TPMS送信機を開発、量産開始
・送信部の小型・軽量化を実現
・バルブ部の取り外し、交換可能

■中国法制化

・'19年1月～新型車搭載
　'20年1月～継続車搭載が決定

■日・米・中3極生産体制の強化

・新タイプの生産・販売および
　中国法制化に併せ、
　生産能力の増強

TPMS　Eタイプ

■各地域の法制化の動き

地域	法制化開始時期
北米	2005年10月
欧州	2012年11月
韓国	2013年1月
台湾	2014年11月
ロシア	2016年1月
GCC	2017年モデル
中国	2019年1月
日本	未定

5-7 参考：新型カムリに搭載された当社の技術

太平洋工業の様々な技術が採用

【プレス】

摩擦撹拌接合(FSW)
アルミ製部品

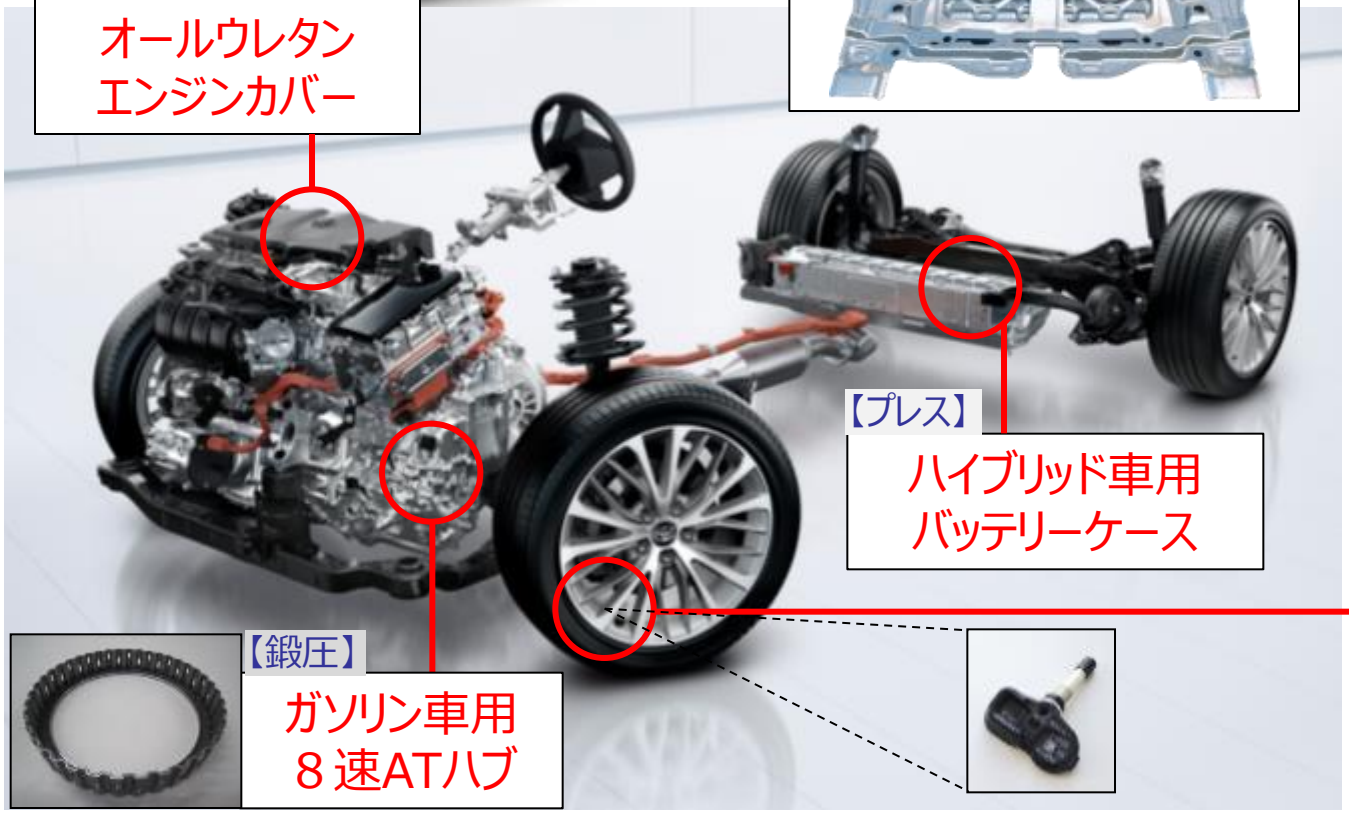
【プレス】

冷間プレス工法
超ハイテン材部品

「カムリプロジェクト表彰」受賞

【樹脂】

オールウレタン
エンジンカバー



【プレス】

ハイブリッド車用
バッテリーケース

【鍛圧】

ガソリン車用
８速ATハブ

【TPMS】

TPMS
（タイヤ空気圧監視システム）

5-8 中期経営計画「OCEAN-20」

トップクラスのGLOCALな部品メーカーを目指す

キーワード
- 技術と海外
- ものづくりは人づくり
- CSRと環境保全

深化 改善する力
QUALITY & COST IMPROVEMENT

- TPSを基本に現場マネジメントレベルを上げ、世界品質を実現
- IoT技術を活用した現場改善の推進と設備保全の強化
- “ものづくり革新”と自働化により、高効率な生産性を追求

進化 革新する力
TECHNOLOGY INNOVATION

- 材料・設計・工法革新による新技術の創出
- スリム・コンパクト・フレキシブルなラインの実現
- 環境に優しい次世代製品・工法の開発

新化 新技術・事業を起こす力
BUSINESS DEVELOPMENT

- ニーズ調査と当社技術の融合による新商品・新市場の開拓
- 新拠点とグローバル営業・調達・生産体制の構築
- 戦略的なM&Aによるシナジーの創出とアライアンスによる事業拡充

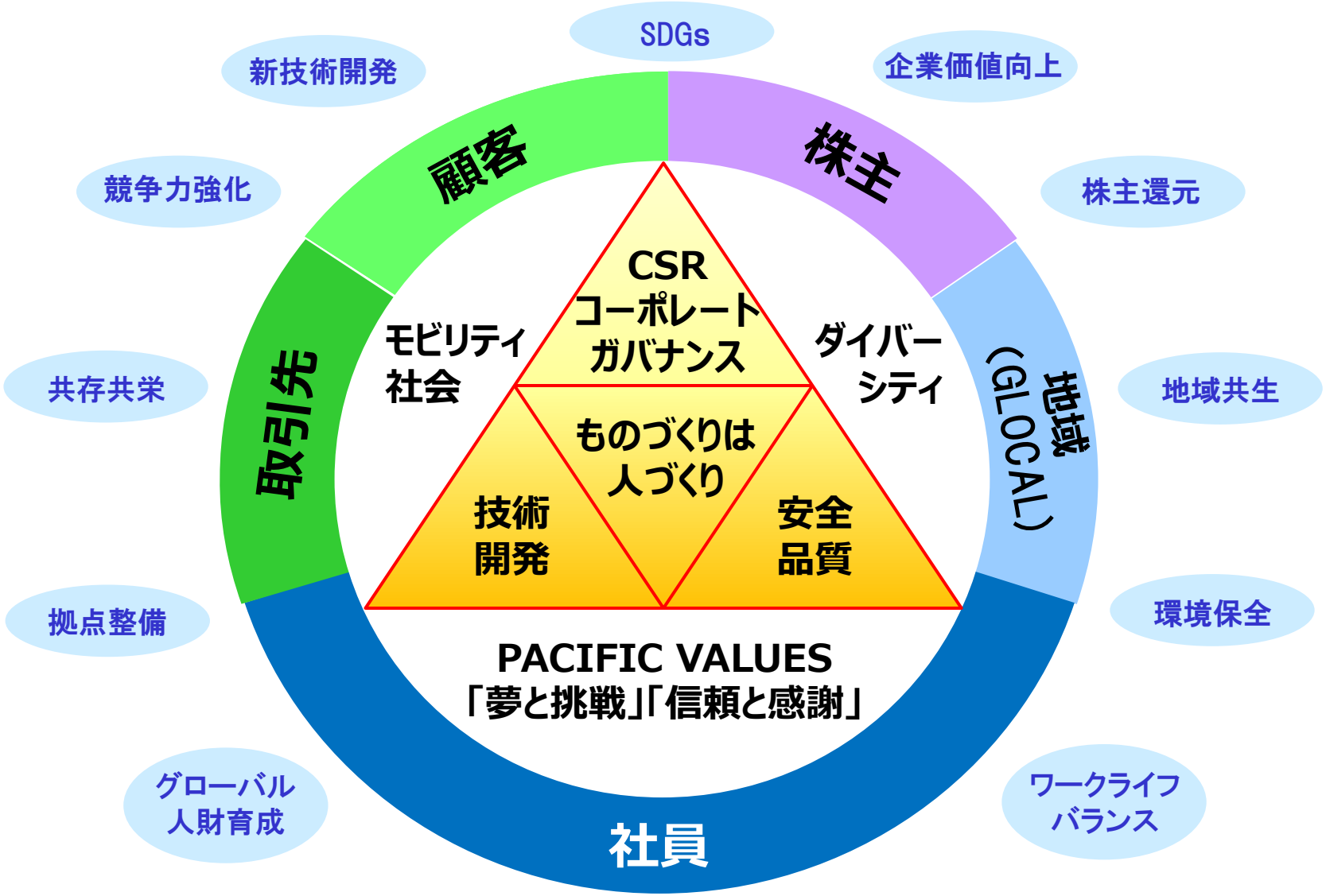
真価 企業価値を高める力
BRAND ENRICHMENT

- グローバルな成長と利益確保により、企業価値を向上
- 環境負荷を軽減し、持続可能な社会に貢献
- 太平洋の価値観を共有し、グローカル経営を実現

信加 信頼を勝ち取る力
RESPECT & RESPONSIBILITY

- グループ全体でのCSR・リスク低減活動の遂行
- 安全・安心・健康な職場づくりと人財育成の推進
- 多様な人財が活躍し、チャレンジできる風土の醸成

TPS…Toyota Production System　CSR…Corporate Social Responsibility

5-9 2030年[100年企業をめざして]

持続可能な経営戦略